

安曇野市の財政状況

令和2年10月1日から令和3年3月31日までの期間における安曇野市の財政状況

令和3年6月 財政部 財政課

1 はじめに

令和2年度下半期の補正予算の概要と予算執行状況、公営企業の業務など安曇野市の財政状況について公表します。

2 令和2年度補正予算の状況

【上半期の補正予算】

(単位：千円)

会計名	当初予算	補正予算 (5月臨時会提案)	補正予算 (6月議会提案)	補正予算 (6月追加提案)	補正予算 (9月議会提案)	補正予算 (9月追加提案)
一般会計	42,180,000	10,736,000	617,000	637,000	708,000	1,718,000
国民健康保険特別会計	9,815,283		14,823		65,324	
後期高齢者医療特別会計	1,347,221				27,800	
介護保険特別会計	9,453,702		10,828		133,825	
上川手山林財産区特別会計	1,582				1,319	
北の沢山林財産区特別会計	883				154	
有明山林財産区特別会計	1,192				6	
富士尾沢山林財産区特別会計	1,021				△ 10	
穂高山林財産区特別会計	1,092				△ 75	
産業団地造成事業特別会計	1,084,696					
有明荘特別会計	7,702					
合計	63,894,374	10,736,000	642,651	637,000	936,343	1,718,000

法適用企業会計

(単位：千円)

会計名	当初予算	補正予算 (5月臨時会提案)	補正予算 (6月議会提案)	補正予算 (6月追加提案)	補正予算 (9月議会提案)	補正予算 (9月追加提案)
水道事業	収益的収入	2,349,830				
	収益的支出	1,910,760		330		
	資本的収入	269,319				
	資本的支出	1,738,950				
下水道事業	収益的収入	4,396,348				
	収益的支出	3,773,888				
	資本的収入	777,699				
	資本的支出	2,532,549				

【下半期の補正予算】

(単位：千円)

会計名	補正予算 (11月臨時会提案)	補正予算 (12月議会提案)	補正予算 (12月追加提案)	補正予算 (1月臨時会提案)	補正予算 (3月議会提案)	補正予算 (6月議会報告)	最終予算額
一般会計	17,000	772,000	61,000	544,000	828,000	△ 773,000	58,045,000
国民健康保険特別会計					△ 569,802	△ 78,007	9,247,621
後期高齢者医療特別会計					△ 83,348	△ 577	1,291,096
介護保険特別会計		17,789			△ 2,633	△ 68,809	9,544,702
上川手山林財産区特別会計							2,901
北の沢山林財産区特別会計					2		1,039
有明山林財産区特別会計					5		1,203
富士尾沢山林財産区特別会計							1,011
穂高山林財産区特別会計							1,017
産業団地造成事業特別会計					△ 26,000	△ 8,218	1,050,478
有明荘特別会計						△ 1,063	6,639
合計	17,000	789,789	61,000	544,000	146,224	△ 929,674	79,192,707

法適用企業会計

(単位：千円)

(単位：千円)

会計名	補正予算 (11月臨時会提案)	補正予算 (12月議会提案)	補正予算 (12月追加提案)	補正予算 (1月臨時会提案)	補正予算 (3月議会提案)	補正予算 (6月議会報告)	最終予算額
水道事業	収益的収入				△ 35,172		2,314,658
	収益的支出		△ 4,963		△ 10,893		1,895,234
	資本的収入				△ 1,225		268,094
	資本的支出				△ 2,320		1,736,630
下水道事業	収益的収入				△ 36,015		4,360,333
	収益的支出		8,350		△ 42,676		3,739,562
	資本的収入				10,924		788,623
	資本的支出				△ 11,208		2,521,341

3 令和2年度下半期の補正予算の状況

令和2年度下半期各会計別の補正予算の状況は上記のとおりです。

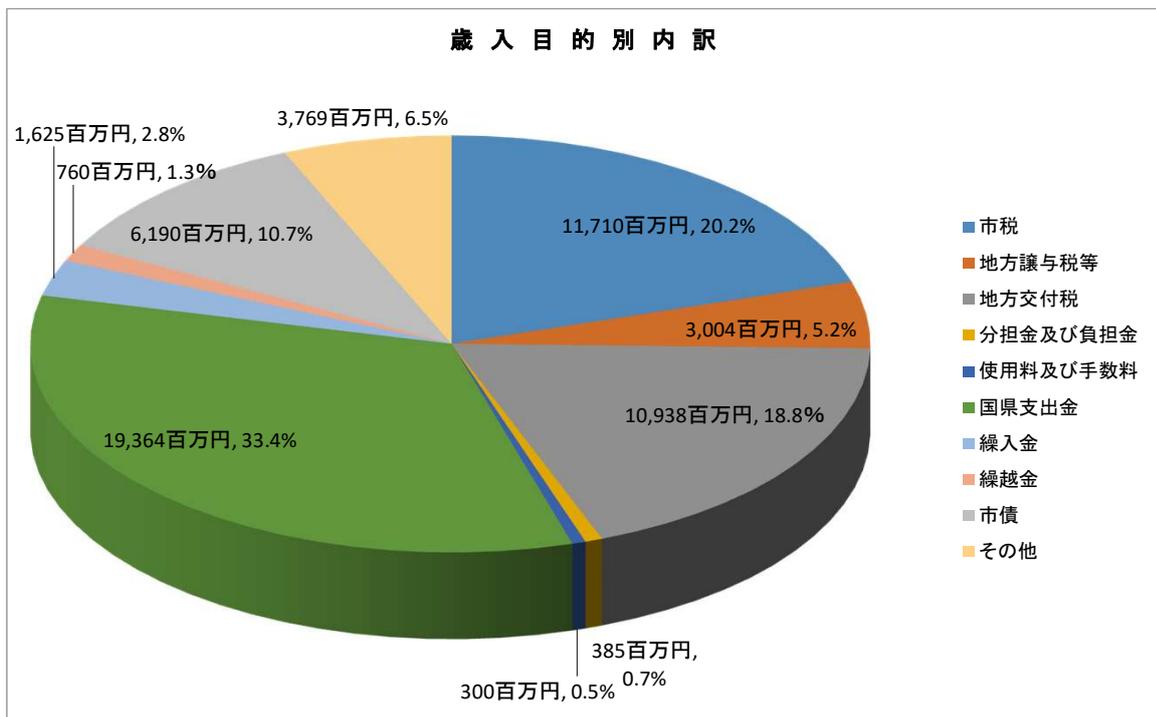
一般会計においては、下半期に6回の補正予算を編成しました。

11月臨時会へ提案した「補正予算第6号」は、市内認定こども園（豊科、三郷西部を除く）の3歳以上児保育室に設置する冷房設備の設計委託費の増額、穂高幼稚園の各教室に設置する冷房設備の設計委託費など1,700万円の増額補正、及び認定こども園及び穂高幼稚園に設置する冷房設備の工事監理委託、設置工事の債務負担行為の設定を行いました。12月議会へ提案した「補正予算第7号」は、市税、国庫支出金の減額や県支出金、基金繰入金の増額、ふるさと寄附返礼品の増額、令和2年7月豪雨及び8月末の集中豪雨により発生した耕地施設災害における復旧費の増額など7億7,200万円の増額補正、及びGIGAスクール構想における小学校学習用端末購入や指定管理期間が複数年にわたるもの、図書館管理システム賃貸借など債務負担行為の設定を行いました。12月議会へ追加提案した「補正予算第8号」は、新型コロナウイルス感染拡大への生活支援として、児童扶養手当受給世帯等のひとり親世帯に対し、1世帯当たり5万円、第2子以降1人につき3万円を給付するひとり親世帯臨時特別給付金事業6,100万円の増額補正を行いました。令和3年1月臨時会へ提案した「補正予算第9号」は、寄附額の増に伴う返礼品費等の増額、新型コロナウイルスワクチン接種体制を確保するための導入経費の増額など5億4,400万円の増額補正、及び令和3年4月執行の参議院長野県選出議員補欠選挙、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保のための契約期間が複数年となるための債務負担行為の設定を行いました。3月議会へ提案した「補正予算第10号」は、市税、国庫支出金、県支出金、財産収入、寄附金、市債の増額、分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰入金等の減額、児童手当、児童扶養手当の確定などによる児童福祉総務費の減額、国交付金の追加内示による新総合体育館建設事業などの増額から8億2,800万円の増額補正、及び年度内での事業完了が困難となった事業について繰越明許費の設定を行いました。令和3年6月議会へ報告した補正予算については、決算を踏まえた歳入の整理及び歳出不執行額の整理を中心に3月26日付で専決処分を行い、「専決第1号」として報告したものです。

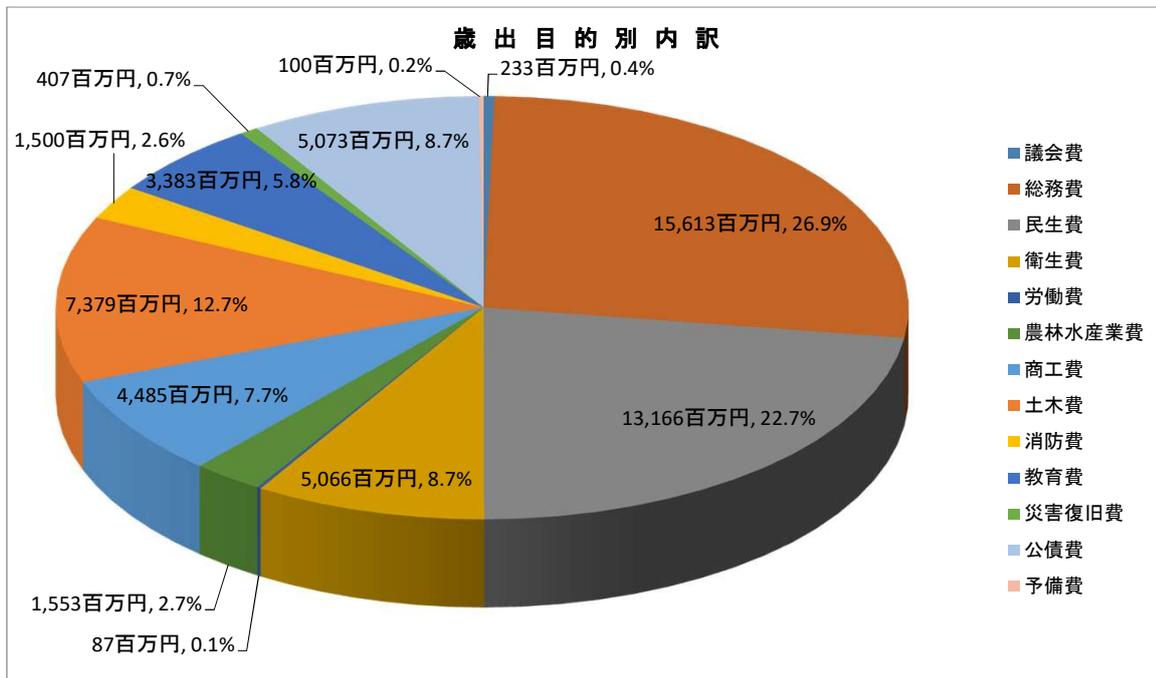
一般会計の補正予算の概要は、次のとおりです。

最終的な予算額については、580億4,500万円となりました。歳入及び歳出の目的別内訳、歳出の性質別内訳は次のグラフのとおりです。

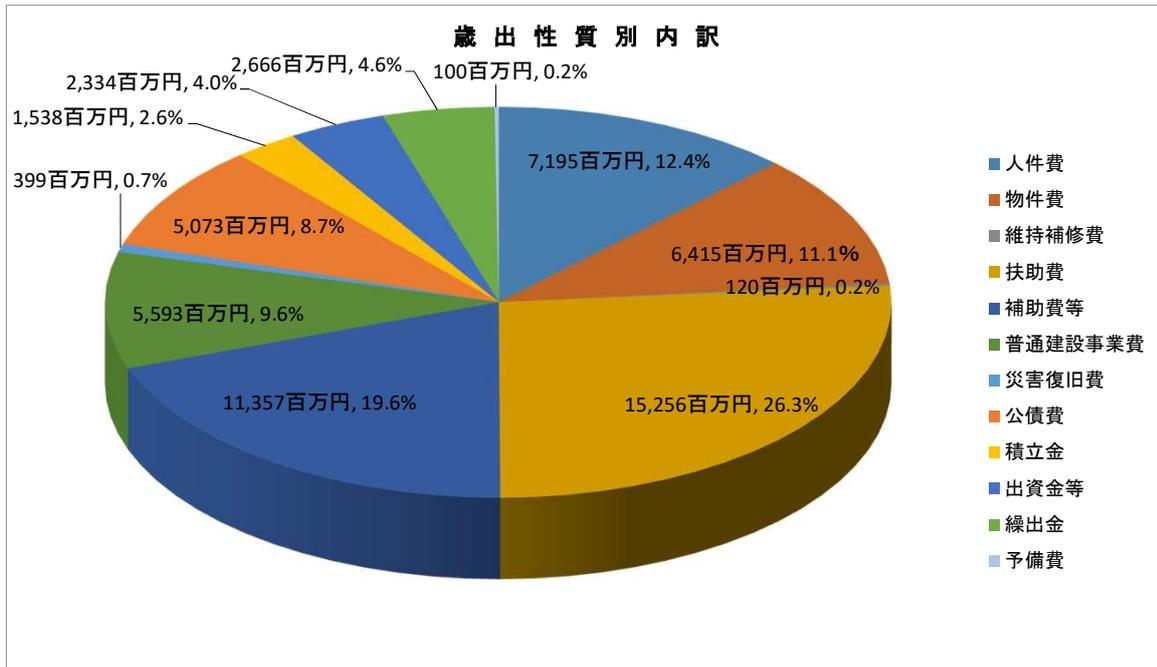
令和3年3月専決予算の歳入及び歳出内訳（総額580億4,500万円）



※ 構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。



※ 構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。



※ 百万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。

令和2年度一般会計補正予算（第1号）の概要等

1 令和2年度一般会計補正予算（第1号）の編成方針等

○ 基本事項

新型コロナウイルス感染拡大に対し、国の補正予算事項、及び市の緊急経済対策事業など、速やかに実施が必要である事業に対し、追加予算を計上する。

2 補正予算見積状況

補正予算額	107億3,600万円
補正前の予算額	421億8,000万円
補正後の予算額	529億1,600万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
10,736,000	10,017,702		492,000	226,298

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	国庫支出金			
10	特別定額給付金給付事業費補助金	97億5,000万円	特別定額給付金給付事業	新型コロナウイルス感染拡大への緊急経済対策として実施する特別定額給付金給付事業に措置される国庫補助金
10	特別定額給付金給付事務費補助金	8,171万1千円	特別定額給付金給付事業	新型コロナウイルス感染拡大への緊急経済対策として実施する特別定額給付金給付事業の事務費として措置される国庫補助金
10	新型コロナウイルス拡大防止協力企業等特別支援事業補助金	3,800万円	新型コロナウイルス感染症対策事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協力企業への経済支援に措置される国庫補助金
10	子育て世帯への臨時特別給付金事業国庫補助金	1億4,752万9千円	子育て世帯臨時特別給付金事業	新型コロナウイルス感染拡大対策として実施される子育て世帯への特別給付金事業に措置される国庫補助金
	県支出金			
10	教育支援体制整備事業補助金	46万2千円	穂高幼稚園運営費	新型コロナウイルス感染症対策への緊急環境整備として措置される県補助金
	繰入金			
10	財政調整基金繰入金	2億2,629万8千円	一般財源	財源調整による
10	ふるさと寄附基金繰入金	2億9,200万円	安曇野市子育て世帯支援臨時給付金事業	安曇野市子育て世帯支援臨時給付金の財源として充当する
	諸収入			
10	市制度資金元金	2億円	市制度資金貸付事業	新型コロナウイルス感染拡大対策として実施する企業等への資金繰り融資における、金融機関に預託した貸付資金

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
総務費			
12	広報費	312万4千円	新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた広報費
12	特別定額給付金給付事業	98億3,171万2千円	新型コロナウイルス感染拡大への緊急経済対策として、給付対象者(基準日:令和2年4月27日として住民基本台帳に記録されている者)一人当たり10万円を給付する定額給付事業
民生費			
14	児童福祉総務費	12万5千円	新型コロナウイルス感染防止対策として、児童手当現況届の受付方法に郵送を追加することによる封筒代などの経費
14	子育て世帯臨時特別給付金事業	1億4,752万9千円	新型コロナウイルス感染拡大対策として実施される子育て世帯への特別給付金給付事業(国補助事業)
14	安曇野市子育て世帯支援臨時給付金事業	2億9,861万円	新型コロナウイルス感染拡大対策として実施される子育て世帯への臨時給付金事業(市単独)
商工費			
16	市制度資金貸付事業	3億7万円	新型コロナウイルス感染拡大における緊急経済支援として、中小企業・事業者へ制度資金を融資し、資金繰り支援を実施する
16	新型コロナウイルス感染症対策事業	1億468万5千円	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休業要請等協力金、及び飲食店のテイクアウト等、新たなビジネス転換事業者等への経済支援を実施する
土木費			
18	道路橋梁維持費	1,440万円	新型コロナウイルス感染拡大における経済対策として、小規模建設業者及び小規模事業者へ維持・修繕工事を発注し経済支援を実施する
18	河川維持費	100万円	新型コロナウイルス感染拡大における経済対策として、小規模建設業者及び小規模事業者へ維持・修繕工事を発注し経済支援を実施する

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
18	都市公園等維持管理事業	460 万円	新型コロナウイルス感染拡大における経済対策として、小規模建設業者及び小規模事業者へ維持・修繕工事を発注し経済支援を実施する
教育費			
20	事務局費	253 万 1 千円	新型コロナウイルス感染症蔓延対策として、児童・生徒等の健康管理に必要な医療用非接触体温計などの整備を実施する
20	学校保健事業	748 万円	新型コロナウイルス感染症対策として、小・中学校へマスクを配布する
20	給食センター総務費	1,967 万円	新型コロナウイルス感染拡大の経済対策として、小中学生の給食費(5月分)について補助を実施する
20	穂高幼稚園運営費	46 万 4 千円	新型コロナウイルス感染症蔓延対策として空気清浄機などの整備を実施する
参考			
22	一般職人件費 (報酬、職員手当)	773 万 6 千円	報酬 (234 万円) 職員手当 (539 万 6 千円)

【参考】

令和2年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第1号）	42,180,000	10,736,000	52,916,000
安曇野市国民健康保険特別会計	9,815,283		9,815,283
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,347,221		1,347,221
安曇野市介護保険特別会計	9,453,702		9,453,702
安曇野市上川手山林財産区特別会計	1,582		1,582
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	883		883
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,192		1,192
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	1,021		1,021
安曇野市穂高山林財産区特別会計	1,092		1,092
安曇野市産業団地造成事業特別会計	1,084,696		1,084,696
安曇野市有明荘特別会計	7,702		7,702
特別会計合計	21,714,374		21,714,374
総 計（一般会計+特別会計）	63,894,374	10,736,000	74,630,374

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市水道事業会計 補正予算	収益的収入	2,349,830	2,349,830
	収益的支出	1,910,760	1,910,760
	資本的収入	269,319	269,319
	資本的支出	1,738,950	1,738,950
安曇野市下水道事業会計 補正予算	収益的収入	4,396,348	4,396,348
	収益的支出	3,773,888	3,773,888
	資本的収入	777,699	777,699
	資本的支出	2,532,549	2,532,549

令和2年度一般会計補正予算（補正第2号）の概要等

1 令和2年度一般会計補正予算（補正第2号）の編成方針等

○ 基本事項

『当初予算の執行開始後間もない』こと、及び『増額補正に対応する財源確保が困難である』ことから、原則として次の事項に該当するものを補正する。

- ① 市民の安全確保や利便性確保のため、緊急を要するものの補正
- ② 国庫・県支出金の交付決定が出されたもののうち、早期着手が必要な案件に係る部分の補正
- ③ 当初予算編成時において、諸条件が整い次第予算化を検討するとしたもののうち、要件を満たしたものであって、緊急を要するものの補正
- ④ 新型コロナウイルス感染症対策として、緊急且つ速やかに実施が必要なものの補正

2 補正予算見積状況

補正予算額	6億1,700万円
補正前の予算額	529億1,600万円
補正後の予算額	535億3,300万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
617,000	370,974	79,100	32,291	134,635

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	国庫支出金			
12	児童手当国庫負担金	27万9千円	児童福祉総務費	マイナンバー情報連携システム改修に伴う負担金
12	個人番号カード交付事業費補助金	6,210万2千円	戸籍住民基本台帳管理費	個人番号(マイナンバー)カード交付増に伴う補助金
12	放課後等デイサービス給付費(学校休校分)	257万5千円	障がい者支援事業	新型コロナウイルス感染拡大対策として、特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス利用費に対する補助金
12	生活困窮者就労準備支援事業等補助金(生活保護適正化等事業)	33万円	生活保護総務費	「日常生活支援住居施設」の制度施行に伴うシステム改修費の補助
12	環境施設整備費補助金	8,968万8千円	事務局費	新型コロナウイルス感染拡大対応として、市内小中学校に早期導入されるGIGAスクール構想に伴うネットワーク環境整備に対する国庫補助金
12	公立学校情報機器整備費補助金	2億1,600万円	・小学校総務管理費 ・中学校総務管理費	新型コロナウイルス感染拡大対応として、市内小中学校に早期導入されるGIGAスクール構想に伴うパソコン整備に対する国庫補助金
	寄附金			
12	指定寄附金	500万円	保健衛生総務費	新型コロナウイルス感染拡大対策への使途として、企業より受けた寄附金
	繰入金			
12	財政調整基金繰入金	1億3,463万5千円	一般財源	財源調整による
12	公共施設整備基金繰入金	6,700万円	事務局費	新型コロナウイルス感染拡大対応として、市内小中学校に早期導入されるGIGAスクール構想に伴うネットワーク環境整備に充当する繰入金

予算書P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
12	堀金観光開発基金繰入金	△3,921万4千円	ほりで一ゆ～運営事業	新型コロナウイルス感染拡大による「ほりで一ゆ～四季の郷」の臨時休業により、施設改修等、年間事業計画の見直しに伴う基金充当額の変更
12	三郷農林漁業体験実習館基金繰入金	△49万5千円	ファインビュー室山運営事業	新型コロナウイルス感染拡大による「ファインビュー室山」の臨時休業により、施設管理等、年間事業計画の見直しに伴う基金充当額の変更
市債				
14	学校教育施設等整備事業債	7,910万円	事務局費	新型コロナウイルス感染拡大対応として、市内小中学校に早期導入されるGIGAスクール構想に伴うネットワーク環境整備に対するもの

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書ページ	事業名	増(減)額	主な内容
総務費			
16	企画総務費	128万3千円	一部事務組合負担額(松本広域連合)の確定による
16	戸籍住民基本台帳管理費	6,140万2千円	マイナンバーカード交付増による
民生費			
18	障がい者支援事業	502万1千円	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う特別支援学校等の臨時休業により、放課後等デイサービス支援事業の利用者増によるもの
18	児童福祉総務費	42万円	個人情報データ標準レイアウトの変更に伴うマイナンバー情報連携システムの改修による
18	生活保護総務費	66万円	10月1日より新設される「日常生活支援住居施設」への給付に伴うシステムの改修による

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
衛生費			
20	保健衛生総務費	545万6千円	新型コロナウイルス感染拡大に伴い松本市立病院に設置されたPCR検査センターに対する負担金及び企業からの寄附金を原資とした市内医療機関への感染症医療用品の購入
20	水道事業	1億2,371万9千円	新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済支援として、水道料基本料金(1期2カ月分)減免に対する水道事業会計への負担金
農林水産業費			
22	ファインビュー室山運営事業	△49万5千円	新型コロナウイルス感染拡大による「ファインビュー室山」の臨時休業により、施設管理等、年間事業計画の見直しに伴うもの
22	ほりで一ゆ〜運営事業	△3,921万4千円	新型コロナウイルス感染拡大による「ほりで一ゆ〜四季の郷」の臨時休業により、施設改修等、年間事業計画の見直しに伴うもの
商工費			
24	商業振興事業	60万2千円	安曇野市まちづくり会館に対する不動産鑑定料など
消防費			
26	防災無線維持管理費	182万3千円	防災行政無線における放送内容の確認ダイヤル(テレホンサービス)増設による
教育費			
28	事務局費	2億3,652万1千円	新型コロナウイルス感染拡大対応として、市内小中学校に早期導入されるGIGAスクール構想に伴うネットワーク環境整備によるもの
28	小学校総務管理費	1億346万8千円	新型コロナウイルス感染拡大対応として、市内小学校に早期導入されるGIGAスクール構想に伴うパソコン整備(児童/1台)など
28	中学校総務管理費	1億1,633万4千円	新型コロナウイルス感染拡大対応として、市内中学校に早期導入されるGIGAスクール構想に伴うパソコン整備(生徒/1台)など

5 債務負担行為

次の事業については、複数年にわたる事業のため債務負担行為の設定をします。

1 追加

事業名	限度額	期間	設定を必要とする理由
東京 2020 オリンピック・パラリンピック応援ツアー事業	532 万 7 千円	令和 3 年度まで	東京 2020 オリンピック・パラリンピックが 1 年延期されたことに伴い、応援ツアー事業の契約が新たに必要となったため

【参考】

令和2年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第2号）	52,916,000	617,000	53,533,000

安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算（第1号）	9,815,283	14,823	9,830,106
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,347,221		1,347,221
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（第1号）	9,453,702	10,828	9,464,530
安曇野市上川手山林財産区特別会計	1,582		1,582
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	883		883
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,192		1,192
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	1,021		1,021
安曇野市穂高山林財産区特別会計	1,092		1,092
安曇野市産業団地造成事業特別会計	1,084,696		1,084,696
安曇野市有明荘特別会計	7,702		7,702
特別会計合計	21,714,374	25,651	21,740,025
総 計（一般会計+特別会計）	74,630,374	642,651	75,273,025

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計 補正予算	収益的収入	2,349,830		2,349,830
	収益的支出	1,910,760	330	1,911,090
	資本的収入	269,319		269,319
	資本的支出	1,738,950		1,738,950
安曇野市下水道事業会計 補正予算	収益的収入	4,396,348		4,396,348
	収益的支出	3,773,888		3,773,888
	資本的収入	777,699		777,699
	資本的支出	2,532,549		2,532,549

令和2年度一般会計補正予算（補正第3号）の概要等

1 令和2年度一般会計補正予算（補正第3号）の編成方針等

○ 基本事項

新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急支援策として、経済活動を活性化させ地域経済の回復に寄与するもの、感染拡大防止に関するもの、市民生活支援に関するもの、及び福祉施設等環境改善に関するものについて、必要な補正を行う。

2 補正予算見積状況

補正予算額	6億3,700万円
補正前の予算額	535億3,300万円
補正後の予算額	541億7,000万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
637,000	184,087	0	△9,550	462,463

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
分担金及び負担金				
10	保育児童保育料	△943万6千円	認定こども園管理費	新型コロナウイルス感染拡大対応として、登園自粛要請期間における保育料、副食費、延長保育料を実利用状況に応じ軽減することによる減額
国庫支出金				
10	保育対策総合支援事業補助金	820万円	保育政策費	新型コロナウイルス感染症予防対策として、市内保育所等への感染症対策用品購入等に対する国庫補助金
10	ひとり親世帯臨時特別給付金事業国庫補助金	7,392万6千円	ひとり親世帯臨時特別給付金事業	新型コロナウイルス感染拡大対策として、児童扶養手当受給世帯等へ交付する給付金(5万円/世帯、第2子以降3万円/人、収入大幅減の場合5万円/世帯)に対する国庫補助金
県支出金				
10	地域支えあいプラスワン消費促進事業補助金	1億196万1千円	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策事業 ・新型コロナウイルス感染症対策宿泊施設関連支援事業 	新型コロナウイルス感染拡大対策として、市が実施するプレミアム付商品券事業及びホテル・ペンション宿泊補助券事業に対する県補助金
繰入金				
10	財政調整基金繰入金	4億6,246万3千円	一般財源	財源調整による
諸収入				
10	幼稚園給食費	△11万4千円	穂高幼稚園給食運営費	新型コロナウイルス感染拡大対応として、穂高幼稚園の登園自粛要請期間における給食費を実利用状況に応じ軽減することによる減額

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
総務費			
12	飲用井戸利用者等支援給付事業	86万2千円	新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済支援として、上水道を利用していない井水利用者等へ、水道料金の基本料金相当額(1期2カ月分)を給付する
12	電算管理費	△14万5千円	新型コロナウイルス感染拡大対応として、ウェブ会議用機器の購入(101万2千円)による。 ※電算システム更新の内容見直しによる△115万7千円を含む
民生費			
14	障がい者福祉総務費	161万1千円	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内の障がい者施設等へ感染対策用品を配布する
14	老人福祉総務費	68万5千円	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内の高齢者施設等へ感染対策用品を配布する
14	介護保険対策費	240万7千円	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内の介護施設等へ感染対策用品を配布する
14	ひとり親世帯臨時特別給付金事業	7,392万6千円	新型コロナウイルス感染拡大対策として、児童扶養手当受給世帯等へ交付する給付金事業費
16	保育政策費	823万2千円	新型コロナウイルス感染症予防対策として、市内保育所等に対するハンドソープの購入配布及び市内認可保育所への感染症対策用品の購入助成
農林水産業費			
18	消費拡大対策事業	350万円	新型コロナウイルス感染拡大対策として、農家の独自販売ルート開拓における通販サイト出店手数料を補助する
商工費			
20	市制度資金貸付事業	8,200万円	新型コロナウイルス感染拡大における経済支援として、中小企業・事業者へ制度資金を融資し、資金繰り支援のため、保証料補給金を増額する

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
20	新型コロナウイルス感染症対策事業	4億3,492万2千円	新型コロナウイルス感染拡大対策として、プレミアム付商品券事業(30%のプレミアム付き)の実施経費及び既に実施している休業要請協力金の交付対象である飲食店等以外の事業者(サービス事業者等)に感染拡大防止対策協力金(10万円/事業者)を交付する
20	新型コロナウイルス感染症対策宿泊施設関連支援事業	2,900万円	新型コロナウイルス感染拡大対策として、ホテル、ペンションなどの宿泊施設に対し、宿泊客への宿泊補助券を配布するための経費
参考			
24	一般職人件費 (報酬、職員手当)	344万円	報酬 (291万9千円) 職員手当 (52万1千円)

【参考】

令和2年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算 (第3号)	53,533,000	637,000	54,170,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算 (第1号)	9,830,106		9,830,106
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,347,221		1,347,221
安曇野市介護保険特別会計 補正予算 (第1号)	9,464,530		9,464,530
安曇野市上川手山林財産区特別会計	1,582		1,582
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	883		883
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,192		1,192
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	1,021		1,021
安曇野市穂高山林財産区特別会計	1,092		1,092
安曇野市産業団地造成事業特別会計	1,084,696		1,084,696
安曇野市有明荘特別会計	7,702		7,702
特別会計合計	21,740,025	0	21,740,025
総 計 (一般会計+特別会計)	75,273,025	637,000	75,910,025

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計 補正予算	収益的収入	2,349,830		2,349,830
	収益的支出	1,911,090		1,911,090
	資本的収入	269,319		269,319
	資本的支出	1,738,950		1,738,950
安曇野市下水道事業会計 補正予算	収益的収入	4,396,348		4,396,348
	収益的支出	3,773,888		3,773,888
	資本的収入	777,699		777,699
	資本的支出	2,532,549		2,532,549
	資本的収入	269,319		269,319
	資本的支出	1,738,950		1,738,950
安曇野市下水道事業会計 補正予算	収益的収入	4,396,348		4,396,348
	収益的支出	3,773,888		3,773,888
	資本的収入	777,699		777,699
	資本的支出	2,532,549		2,532,549

令和2年度一般会計補正予算（第4号）の概要等

1 令和2年度一般会計補正予算（第4号）の編成方針等

○ 基本事項

現時点までの予算執行状況を的確に分析し、令和2年度後期の必要経費を積算した上で、予算に過不足が生じることが予測される場合であって、原則として次の事項に該当するものを補正する。

- ①本年度の予算執行段階において、見直し等を決定した予算及び、入札等により事業費が確定したことによる補正
- ②事業実施に関する諸条件が整ったことによる事業化の見通しがたったもので、緊急を要するなど、年度途中で事業実施に踏み込む正当な事由がある事業等の補正
- ③市民の安全確保や利便性確保のため、緊急を要する事業等であって、既決予算を超える部分の補正
- ④新型コロナウイルス感染拡大対策により、速やかに実施が必要となる補正

2 補正予算見積状況

補正予算額	7億800万円
補正前の予算額	541億7,000万円
補正後の予算額	548億7,800万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
708,000	48,772	△321,700	△94,401	1,075,329

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	地方特例交付金			
12	個人住民税減収補填特例交付金	431万4千円	一般財源	交付額の決定による
12	自動車税減収補填特例交付金	849万9千円	一般財源	交付額の決定による
12	軽自動車税減収補填特例交付金	561万8千円	一般財源	交付額の決定による
	地方交付税			
12	普通交付税	6億1,275万5千円	一般財源	交付額の決定による
	国庫支出金			
14	生活困窮者住居確保給付金負担金	690万5千円	生活困窮者自立支援事業	住居確保給付金制度の一部改正に伴い、制度利用者が増加したことによる増額
14	子どものための教育保育給付費負担金	754万3千円	保育政策費	施設型給付及び地域型保育給付の公定価格(国が示す基準額)の増等による
14	新型コロナウイルス拡大防止協力企業等特別支援事業補助金	△3,800万円	新型コロナウイルス感染症対策事業	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金への一元化による
14	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	3億4,884万2千円	・広報費 ・水道事業 ・市制度資金貸付事業 ・新型コロナウイルス感染症対策事業 ・給食センター総務費	新型コロナウイルス感染症拡大対応に対し交付される臨時交付金(既の実施している左記充当先事業に対する臨時交付金)
14	新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金	1,350万円	保育政策費	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、保育施設に整備する感染症対策用品に対する交付金
14	道路改良費補助金	357万5千円	社会資本整備総合交付金事業	橋梁点検及び橋梁修繕に対する対象事業費増による
14	社会資本整備総合交付金(体育館分)	△2億500万円	新総合体育館建設事業	交付決定による

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
14	都市再生整備計画事業	△7,002 万円	都市再生整備計画事業（都市整備分）	交付決定による（明科駅周辺事業）
14	環境施設整備費補助金	1,310 万 4 千円	事務局費	交付決定による（GIGA スクール構想に伴う施設整備分）
14	公立学校情報機器整備費補助金	693 万円	小学校総務管理費	交付決定による（GIGA スクール構想に伴うパソコン整備分）
14	学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業補助金	1,325 万円	事務局費	市内小・中学校へ整備する新型コロナウイルス感染症対策用品に対する補助金
14	社会資本整備総合交付金（防災マップ分）	300 万円	災害対策費	交付決定による
	県支出金			
16	子どものための教育保育給付費負担金	377 万 1 千円	保育政策費	施設型給付及び地域型保育給付の公定価格（国が示す基準額）の増等による
16	子育て支援総合助成金	400 万円	保育政策費	小規模保育施設設置に係る補助金の増
16	農業次世代投資資金（経営開始型）	300 万円	後継者対策事業	経営初期の経営確立支援を受ける新規就農者の増による
16	6次産業化交付金	△7,410 万円	消費拡大対策事業	新型コロナウイルス感染拡大の影響から、ワサビ加工所の建設延期となったことによる交付金の減

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	財産収入			
18	不動産売払収入（主要 地方道塩尻鍋割穂高線 道路改良事業）	222万7千円	一般財源	主要地方道塩尻鍋割穂 高線の道路改良に伴う もの
	寄附金			
18	指定寄附金	80万9千円	<ul style="list-style-type: none"> ・一般管理費 ・社会福祉総務費 ・保健衛生総務費 ・市制度資金貸付事業 ・事務局費 ・小学校教育振興費 ・中学校教育振興費 ・社会体育施設整備費 	指定寄附による
	繰入金			
18	財政調整基金繰入金	△2億5,945万2千円	一般財源	財源調整による
18	公共施設整備基金繰入金	△2,400万円	事務局費	交付決定による充当額 の変更（GIGAスクール構 想に伴う施設整備分）
18	安曇野の里基金繰入金	△279万9千円	安曇野の里運営事業	新型コロナウイルス感染拡 大による「安曇野の里」の 年間事業計画見直しによる 基金充当額の変更
18	三郷農林漁業体験実 習館基金繰入金	△393万4千円	ファインビュー室山 運営事業	新型コロナウイルス感染拡 大による「ファインビュー 室山」の年間事業計画見直 しによる基金充当額の変更
18	博物館等における美術品取 得及び特別企画展開催基金 繰入金	△600万円	文化振興費	新型コロナウイルス感 染症による日展安曇野 展の中止に伴う基金充 当の取止め
	繰越金			
18	繰越金	7億1,007万9千円	一般財源	前年度繰越金

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	諸収入			
20	プレミアム付商品券 事業返還金	1,483万8千円	社会福祉総務費	事業費確定による
20	ほりでーゆ〜施設利用料	△5,653万円	ほりでーゆ〜運営事業	新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設利用料の免除
20	農林漁業体験実習館 利用料	△2,061万円	ファインビュー室 山運営事業	新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設利用料の免除
20	穂高農業活性化施設 利用料	△116万円	直売加工施設運営事業	こねこねハウス内の営利部門であった食堂を止めたことによる納付金の免除
20	制度資金保証料補給 金返還金	756万5千円	市制度資金貸付事業	制度資金の借換え等による保証料返還金
20	その他雑入物件補償 (観光交流促進課)	422万6千円	温泉活用施設事業	主要地方道塩尻鍋割穂高線の道路改良に伴う県補償金
	市債			
20	臨時財政対策債	△827万2千円	一般財源	発行可能額の決定による
20	公共事業等債	6,300万円	都市再生整備計画事業 (都市整備分)	国庫支出金の減に伴う起債対象事業費の増 (明科駅周辺事業分)
20	旧合併特例事業債	1億9,850万円	社会資本整備総合 交付金事業	橋梁点検事業及び橋梁 修繕事業に係る起債対 象事業費の増 (1,100万円)
			新総合体育館建設 事業	国庫支出金の減に伴う起債 対象事業費の増 (1億9,740万円)
20	借換債	△5億9,420万円	長期借入金償還元金	借換債(旧合併特例事 業債・衛生債)の発行 取止めによる減
20	防災・減災、国土強靱 化緊急対策事業債	△540万円	中学校施設改修事業	学校教育施設等整備事業債 への変更(国庫支出金の交 付決定に伴う地方債の変更) ※豊科北中学校施設改修分

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
20	学校教育施設等整備 事業債	1,640万円	中学校施設改修事業	防災・減災、国土強靱化緊急対策事業債からの変更 (国庫支出金の交付決定に伴う地方債の変更) 490万円 ※豊科北中学校施設改修分
			事務局費	起債対象事業費が増えたことによる増 (GIGA スクール構想に伴う施設整備分) 1,150万円

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	議会費		
22	議会費	△502万8千円	議員共済給付費負担金の負担金率確定等による
	総務費		
24	寄附採納事務	1億1,928万8千円	寄附額の増に伴う返礼品費の増など
26	広報費	299万4千円	新型コロナウイルス感染拡大防止のための広報経費など
26	基金積立金	3億9,014万4千円	繰越金確定に伴う財政調整基金への積立てなど
32	税務総務費	1億1,179万円	予定申告に伴う還付金など
32	戸籍住民基本台帳管理費	687万5千円	戸籍法の改正による住民基本台帳システムの改修など
	民生費		
36	社会福祉総務費	3,360万5千円	プレミアム付商品券事業費の確定に伴う国庫補助返還金など
36	福祉医療費給付事業	2,071万1千円	福祉医療費給付について、県補助金の交付年度に合致させるため、2月診療分の給付費を翌年度計上から今年度計上に変更

予 算 書 ペ ー ジ	事 業 名	増(減)額	主 な 内 容
36	生活困窮者自立支援事業	945 万 2 千円	住居確保給付金の一部制度改正による、申請者の増加見込など
38	在宅福祉事業	333 万 9 千円	高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金の利用者増及び生活管理指導短期宿泊事業の利用者増による
40	保育政策費	5,973 万 3 千円	入園児童数の増などによる施設型給付費等の増及び新型コロナウイルス感染症対策用品購入関連経費の計上など
42	認定こども園給食運営費	△1,783 万 6 千円	給食調理業務委託費の確定などによる
衛生費			
44	保健衛生総務費	670 万 7 千円	新型コロナウイルス感染拡大による感染症対策用品（穂高・豊科保健センター貸館業務用など）の購入など
44	産前産後支援事業	222 万 5 千円	新型コロナウイルス感染拡大による感染症対策用品（出産後の育児不安等の軽減を図る「産後ケア事業」を実施する市内施設用）
44	空家対策等事業	530 万円	空家解体等の申請見込み増加による空家対策補助金の増額による
農林水産業費			
50	消費拡大対策事業	△7,410 万円	新型コロナウイルス感染拡大によるワサビ加工所の建設計画見直しにおける 6 次化交付金の減額
50	安曇野の里運営事業	△479 万円	新型コロナウイルス感染拡大の影響から、施設利用料を免除することに伴う基金積立金の減
52	ファインビュー室山運営事業	△2,061 万円	新型コロナウイルス感染拡大の影響から、施設利用料を免除することに伴う基金積立金の減
52	ほりで一ゆ〜運営事業	△5,653 万円	新型コロナウイルス感染拡大の影響から、施設利用料を免除することに伴う基金積立金の減

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
54	松くい虫被害対策事業	1,434万6千円	松くい虫被害対策として、空中散布後の効果的な防虫駆除の為の樹幹注入業務委託及び注入薬剤の購入
56	経営体育成基盤整備事業	526万6千円	県営ほ場整備事業（烏川地区）における水路の修繕、安全対策工事など、ほ場整備事業に付帯する工事費の計上
商工費			
58	工業振興事業	5,176万7千円	企業等支援助成事業での地域経済牽引企業工場用地取得（新規分）における補助金計上など
60	温泉活用施設事業	422万6千円	主要地方道塩尻鍋割穂高線の道路改良に伴うしゃくなげの湯東側駐車場整備工事費
60	施設管理整備事業	361万3千円	有明荘施設使用料免除に伴う有明荘特別会計への繰出金
土木費			
62	社会資本整備総合交付金事業	1,200万円	橋梁点検及び橋梁修繕に対する国庫補助金の対象事業費増による工事費等の増額
消防費			
66	非常備消防費	△178万円	新型コロナウイルス感染拡大に伴うポンプ操法大会中止による大会実施経費の減など
66	災害対策費	1,372万8千円	新型コロナウイルス感染症対策として、避難所における感染症対策用品の購入
教育費			
68	事務局費	3,088万6千円	新型コロナウイルス感染症対策用品の各小中学校への配布など
68	給食センター総務費	276万8千円	新型コロナウイルス感染拡大対応として実施した3月臨時休校において、キャンセルとなった学校給食食材提供者への委託加工賃相当額の負担金など

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
70	小学校総務管理費	△78万3千円	新型コロナウイルス感染拡大対応として実施するGIGAスクール構想に伴う小学校パソコン整備に対する国庫補助金交付増によるパソコン整備台数の増など ※電子黒板の入札差金△1,143万7千円計上
72	中学校総務管理費	200万5千円	明科中学校グラウンド敷地内民有地の購入に係る用地測量費の計上など
72	中学校施設維持修繕事業	△175万円	新型コロナウイルス感染症対応により、夏休み期間が短縮したことによる施設修繕工事等の計画見直しによる減額など
76	文化振興費	△1,681万9千円	新型コロナウイルス感染拡大による日展安曇野展、早春賦音楽祭等、各種イベント中止による実施経費の減など
	参考		
85	一般職人件費 (報酬・給料・手当・共済)	△245万円	報酬 (△95万8千円) 給料 (△1,940万円) 手当 (1,130万8千円) 共済 (660万円)

5 債務負担行為

次の事業については、複数年にわたる事業のため債務負担行為の設定をします。

追加

事業名	限度額	期間	設定を必要とする理由
本庁舎総合管理業務	3億4,500万円	令和3年度から 令和5年度まで	本庁舎の管理業務委託が複 数年となるため
指定管理による豊科社会 就労センター管理業務	8,630万円	令和3年度から 令和7年度まで	指定管理期間が複数年とな るため
指定管理による穂高社会 就労センター管理業務	8,825万5千円	令和3年度から 令和7年度まで	
指定管理による三郷社会 就労センター管理業務	8,776万5千円	令和3年度から 令和7年度まで	
指定管理による明科社会 就労センター管理業務	1億1,738万5千円	令和3年度から 令和7年度まで	
指定管理による自然体験 交流センター管理業務	978万6千円	令和3年度から 令和5年度まで	
地域経済牽引企業工場用 地取得事業	1億379万円	令和3年度から 令和4年度まで	地域経済牽引企業工場用地 取得事業に対する補助金交 付が複数年となるため

【参考】

令和2年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第4号）	54,170,000	708,000	54,878,000

安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算（第2号）	9,830,106	65,324	9,895,430
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算（第1号）	1,347,221	27,800	1,375,021
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（第2号）	9,464,530	133,825	9,598,355
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,582	1,319	2,901
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	883	154	1,037
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,192	6	1,198
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,021	-10	1,011
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,092	-75	1,017
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算（第1号）	1,084,696	0	1,084,696
安曇野市有明荘特別会計 補正予算（第1号）	7,702	0	7,702
特別会計合計	21,740,025	228,343	21,968,368
総 計（一般会計+特別会計）	75,910,025	936,343	76,846,368

会 計 名 等		補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市水道事業会計	収益的収入	2,349,830		2,349,830
	収益的支出	1,911,090		1,911,090
	資本的収入	269,319		269,319
	資本的支出	1,738,950		1,738,950
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,396,348		4,396,348
	収益的支出	3,773,888		3,773,888
	資本的収入	777,699		777,699
	資本的支出	2,532,549		2,532,549

令和2年度一般会計補正予算（補正第5号）の概要等

1 令和2年度一般会計補正予算（補正第5号）の編成方針等

○ 基本事項

新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急支援策として、速やかに実施が必要な事業や、令和2年7月豪雨などにより被災した道路施設などの復旧経費、また、その他緊急的に対応が必要なものについて追加予算を計上する。

2 補正予算見積状況

補正予算額	17億1,800万円
補正前の予算額	548億7,800万円
補正後の予算額	565億9,600万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
1,718,000	123,218	0	1,100,000	494,782

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	国庫支出金			
10	公共土木施設災害復旧事業負担金	660万円	道路災害復旧事業	令和2年7月豪雨災害及び8月30日の集中豪雨災害による道路災害復旧事業負担金
10	障害者総合支援事業費補助金	2万9千円	地域生活支援事業	新型コロナウイルス感染症対策として、対面で実施する意思疎通支援事業の手話通訳者等に配布する感染症対策用品への国庫補助金
	県支出金			
10	新型コロナウイルス感染症対応医療機器等整備事業	130万4千円	保健衛生総務費	新型コロナウイルス感染症対策として設置する、外来・検査センターの施設整備への県支出金
10	耕地災害復旧事業費補助金	797万5千円	耕地災害復旧事業	令和2年7月豪雨災害による耕地施設災害復旧事業補助金
10	地域支えあいプラスワン消費促進事業補助金	9,925万円	・新型コロナウイルス感染症対策事業 ・新型コロナウイルス感染症対策宿泊施設関連支援事業	新型コロナウイルス感染拡大対策として、市が実施するプレミアム付商品券事業(第2回目)及びホテル・ペンション宿泊補助券事業(第2回目)に対する県補助金
10	長野県新型コロナウイルス感染症外来・検査センター事業実施業務委託金	806万円	保健衛生総務費	新型コロナウイルス感染症対策として設置する、外来・検査センター運営事業委託に対する県委託金
	繰入金			
10	財政調整基金繰入金	4億9,478万2千円	一般財源	財源調整による
	諸収入			
12	市制度資金元金	11億円	市制度資金貸付事業	新型コロナウイルス感染拡大対策として実施する企業等への資金繰り融資における、金融機関に預託する貸付金

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
総務費			
14	企画総務費	891 万円	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている本市出身の県外在学生に対し、「あづみの学生応援便」として地域産品等の給付支援を行う
14	公共交通事業	198 万円	新型コロナウイルス感染症対策として、地域に不可欠な公共交通機関である市内バス・タクシー事業者に支援金（1台当たり 20,000 円）を交付する
14	区等地域力向上事業	142 万 3 千円	新型コロナウイルス感染症対策として自治会活動を支援するため、全区へ貸与する非接触型体温計を購入する
14	諸費	880 万円	市内の廃棄物処理業者に対し許可した「一般廃棄物処理業許可処分」の訴訟が結審したことによる弁護士報酬の計上
民生費			
16	地域生活支援事業	6 万円	新型コロナウイルス感染症対策として、対面で実施する意思疎通支援事業の手話通訳者等に配布する感染症対策用品の購入
16	安曇野市高校生世代支援臨時給付金事業	4,244 万 1 千円	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている高校生世代（2年生及び3年生世代）の生活を支援するため、対象者1人あたり2万円の給付金を支給する
衛生費			
18	保健衛生総務費	1,000 万 9 千円	新型コロナウイルス感染症対策として設置する、外来・検査センターの施設整備費及び運営経費の計上など
農林水産業費			
20	ほりで-ゆ〜運営事業	1,687 万 1 千円	「ほりで-ゆ〜四季の郷」の空調等設備を一元管理する中央監視装置が、落雷により一部破損したことによる故障工事費の計上
商工費			
22	市制度資金貸付事業	13 億円	新型コロナウイルス感染拡大における経済支援として、中小企業・事業者へ制度資金を融資し、資金繰り支援のため、制度資金預託金及び保証料補給金を増額する

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
22	新型コロナウイルス感染症対策事業	1億5,300万円	新型コロナウイルス感染拡大対策として、2回目となるプレミアム付商品券事業(30%のプレミアム付き)の実施経費を計上する
22	新型コロナウイルス感染症対策宿泊施設関連支援事業	6,200万円	<p>新型コロナウイルス感染拡大への経済支援として、以下の経費を計上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来訪者向けクーポン券(飲食店等で活用:30%プレミアム付き)の発行等業務 ・ホテル・ペンション宿泊補助券(1人1泊8,000円以上の宿泊に3,000円、8,000円未満の宿泊に1,000円を助成)の発行等業務 ・市内宿泊施設等を利用する来訪者への地域応援タクシー券(1,000円)発行等業務 ・「安曇野あんしん旅」プラン企画造成支援業務(市内旅行者等が提案する旅行プラン等に対し、1企画につき、その対象経費(上限25万円)を助成) ・市民旅行プラン助成業務(市内旅行者等が市内の団体等向けに企画する、感染症対策を講じた県内バス旅行プランにおいて、利用するバス利用料(上限10万円/日)を助成)
教育費			
24	学校バス運行事業	690万4千円	新型コロナウイルス感染症対策として、修学旅行等の旅行的行事で利用する貸し切りバスについて、車内での「密」を避けるため、各バスの乗車定員を減らすことで増台となる貸し切りバス代の計上
24	文化振興費	79万2千円	新型コロナウイルス感染症対策として、穂高及び豊科交流学习センターへ非接触型体温計を配置することによる購入費
災害復旧費			
26	道路災害復旧事業	3,116万円	令和2年7月豪雨及び8月30日の集中豪雨により発生した道路施設災害における復旧費の計上
26	耕地災害復旧事業	2,365万円	令和2年7月豪雨により発生した耕地施設災害における復旧費の計上

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	予備費		
28	予備費	5,000 万円	令和2年度後期分として、新型コロナウイルス感染症対策や自然災害など、突発的事項に対し緊急対応するため
	参考		
30	一般職人件費 (報酬)	56 万円	報酬 (56 万円)

【参考】

令和2年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第5号）	54,878,000	1,718,000	56,596,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算（第2号）	9,895,430		9,895,430
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算（第1号）	1,375,021		1,375,021
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（第2号）	9,598,355		9,598,355
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	2,901		2,901
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,037		1,037
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,198		1,198
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,011		1,011
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,017		1,017
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算（第1号）	1,084,696		1,084,696
安曇野市有明荘特別会計 補正予算（第1号）	7,702		7,702
特別会計合計	21,968,368	0	21,968,368
総 計（一般会計+特別会計）	76,846,368	1,718,000	78,564,368

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計 補正予算（第1号）	収益的収入	2,349,830		2,349,830
	収益的支出	1,911,090		1,911,090
	資本的収入	269,319		269,319
	資本的支出	1,738,950		1,738,950
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,396,348		4,396,348
	収益的支出	3,773,888		3,773,888
	資本的収入	777,699		777,699
	資本的支出	2,532,549		2,532,549

令和2年度一般会計補正予算（第6号）の概要等

1 令和2年度一般会計補正予算（第6号）の編成方針等

○ 基本事項

昨今の猛暑を受け、喫緊の課題となっている公立認定こども園及び穂高幼稚園への冷房設備の整備について、来年度の早期導入に向けた追加予算を計上する。

2 補正予算見積状況

補正予算額	1,700万円
補正前の予算額	565億9,600万円
補正後の予算額	566億1,300万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
17,000			17,000	

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	繰入金			
10	公共施設整備基金繰入金	1,700 万円	・認定こども園管理費 ・穂高幼稚園運営費	市内認定こども園（豊科、三郷西部を除く）の3歳以上児保育室及び穂高幼稚園の各教室に設置する冷房設備の設計委託費に対する繰入金

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	民生費		
12	認定こども園管理費	1,600 万円	市内認定こども園（豊科、三郷西部を除く）の3歳以上児保育室に設置する冷房設備の設計委託費
	教育費		
14	穂高幼稚園運営費	100 万円	穂高幼稚園の各教室に設置する冷房設備の設計委託費

5 債務負担行為

次の事業については、複数年にわたる事業のため債務負担行為の設定をします。

追加

事業名	限度額	期間	設定を必要とする理由
公立認定こども園3歳以上児保育室空調機設置事業	2億2,570万円	令和3年度まで	市内認定こども園（豊科、三郷西部を除く）の3歳以上児保育室に設置する冷房設備の工事監理委託及び設置工事に係る契約が複数年となるため
穂高幼稚園教室空調機設置事業	1,470万円	令和3年度まで	穂高幼稚園の各教室に設置する冷房設備の工事監理委託及び設置工事に係る契約が複数年となるため

【参考】

令和2年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第6号）	56,596,000	17,000	56,613,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算（第2号）	9,895,430		9,895,430
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算（第1号）	1,375,021		1,375,021
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（第2号）	9,598,355		9,598,355
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	2,901		2,901
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,037		1,037
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,198		1,198
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,011		1,011
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,017		1,017
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算（第1号）	1,084,696		1,084,696
安曇野市有明荘特別会計 補正予算（第1号）	7,702		7,702
特別会計合計	21,968,368		21,968,368
総 計（一般会計+特別会計）	78,564,368	17,000	78,581,368

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計 補正予算	収益的収入	2,349,830		2,349,830
	収益的支出	1,911,090		1,911,090
	資本的収入	269,319		269,319
	資本的支出	1,738,950		1,738,950
安曇野市下水道事業会計 補正予算	収益的収入	4,396,348		4,396,348
	収益的支出	3,773,888		3,773,888
	資本的収入	777,699		777,699
	資本的支出	2,532,549		2,532,549

令和2年度一般会計補正予算（第7号）の概要等

1 令和2年度一般会計補正予算（第7号）の編成方針等

○ 基本事項

現時点までの予算執行状況を的確に分析し、令和2年度末までの必要経費を積算した上で、予算に過不足が生じることが予測される場合であって、原則として次の事項に該当するものを補正する。

- ① 本年度の予算執行段階において見直し等を決定した補正、また、年度末に向けて予算執行の計画が無いもの、及び入札等により事業費が確定したことによる減額補正
- ② 国の経済対策など、年度途中で実施に踏み込む正当な事由がある事業等の補正
- ③ 市民の安全確保や利便性確保のため、緊急を要する事業等であって、既決予算を超える部分の補正
- ④ 翌年度当初からの事業実施のため、令和2年度中に対応が必要となる経費の補正
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症対策として、速やかに実施が必要な事業の補正

2 補正予算見積状況

補正予算額	7億7,200万円
補正前の予算額	566億1,300万円
補正後の予算額	573億8,500万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
772,000	169,670	△13,400	485,204	130,526

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	市税			
12	市民税現年課税分	8,000 万円	一般財源	歳入見込みによる
12	法人市民税現年課税分	△2 億円	一般財源	歳入見込みによる
12	種別割現年課税分 (軽自動車税)	1,000 万円	一般財源	歳入見込みによる
12	入湯税現年課税分	△1,800 万円	一般財源	歳入見込みによる
	分担金及び負担金			
12	耕地災害復旧事業負担金	1 億 7,331 万 8 千円	耕地災害復旧事業	受益者負担分
	国庫支出金			
12	障害児入所給付費等 負担金	1,081 万円	障がい者支援事業	障害児通所支援給付費 の増による
14	特別定額給付金給付 事業費補助金	△2,410 万円	特別定額給付金 給付事業	交付額確定による
14	保育所等整備交付金	773 万 5 千円	保育政策費	補助対象事業費の増による
14	疾病予防対策事業費 等補助金	41 万 2 千円	保健衛生総務費	新型コロナウイルス感染症 対策として、一定の高齢 者や基礎疾患を有する者 に対し、PCR 検査費用及び 抗原定量検査費用を助成 することに対する国庫支 出金
14	シンポジウム助成金	△280 万円	都市公園等維持 管理事業	新型コロナウイルス感染症 による「信州安曇野花と みどりのシンポジウム」の 開催中止による
14	公立学校情報機器整備 費補助金	478 万 3 千円	事務局費	GIGA スクール構想に伴う 導入支援費などの増額に よる
	県支出金			
14	障害児入所給付費等 負担金	540 万 5 千円	障がい者支援事業	障害児通所支援給付費 の増による

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
14	緊急転換支援事業補助金	184万5千円	農業生産振興費	水田農業の経営安定化を図るため、酒造好適米からニーズの高い麦への作付け転換に係る経費に対する補助
16	耕地災害復旧事業費補助金	1億6,189万円	耕地災害復旧事業	国の災害復旧事業による
16	県民税徴収事務委託金	533万9千円	税務総務費	納税義務者数の増加による
寄附金				
16	指定寄附金	51万7千円	・老人福祉施設管理事業 ・保健衛生総務費 ・災害対策費	指定寄附による
16	ふるさと寄附金	3億円	寄附採納事務	ふるさと寄附金の実績見込みによる
繰入金				
16	財政調整基金繰入金	2億5,852万円	一般財源	財源調整による
16	ふるさと寄附基金繰入金	△800万円	・ホストタウン推進事業 ・中学校教育振興費	繰入先の事業費確定による
16	福祉基金繰入金	2,750万円	新生児特別定額給付金給付事業	新型コロナウイルス感染症対策として実施する新生児特別定額給付金給付事業の財源として
諸収入				
18	コミュニティ助成事業助成金(一般・地域防災)	△700万円	区等地域力向上事業	交付額確定による減
18	堀金産地形成施設利用料	△234万円	直売加工施設運営事業	新型コロナウイルス感染症拡大対応による利用料の一部免除
18	穂高農業活性化施設利用料	△113万2千円	直売加工施設運営事業	新型コロナウイルス感染症拡大対応による利用料の一部免除

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
18	制度資金保証料補給 金返還金	300万円	市制度資金貸付事業	制度資金の借換え等による保証料返還金
18	海外ホームステイ参加 者負担金	△210万円	中学校教育振興費	新型コロナウイルス感染拡大による中学生の海外ホームステイ中止による
	市債			
18	旧合併特例事業債	△1,340万円	<ul style="list-style-type: none"> ・財産管理費 ・市民プール管理費 	<ul style="list-style-type: none"> ・押野集会施設解体事業費の確定による減額(△740万円) ・穂高プール解体工事に係る設計費の確定による減額(△600万円)

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	議会費		
20	議会費	△346万1千円	新型コロナウイルス感染拡大による研修・視察の中止等による
	総務費		
22	寄附採納事務	3億9,936万5千円	寄附額の増に伴う返礼品費等の計上による
24	穂高支所費	1,723万8千円	借地契約をしている穂高支所用地の一部買取りなど
26	財産管理費	△772万5千円	押野集会施設の解体工事費確定による
28	区等地域力向上事業	△802万2千円	コミュニティ助成事業補助金及び地区集会施設建設補助金の補助額確定による

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
28	電算管理費	△278万9千円	電算システム機器のリース料確定など
28	国内友好交流事業	△201万4千円	新型コロナウイルス感染拡大により、友好都市で開催される各種イベントへの参加中止など
30	ホストタウン推進事業	△532万7千円	東京オリンピック、パラリンピック観戦ツアーの中止による
30	特別定額給付金給付事業	△2,410万円	交付額の確定による
	民生費		
36	新生児特別定額給付金給付事業	2,967万円	新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年4月28日から令和3年3月31日に出生した新生児に対し、給付金(一人当たり5万円)を給付するための経費
36	障がい者支援事業	2,072万円	障害児通所支援給付費の増による
38	母子福祉事業	204万円	母子家庭自立支援給付金など、令和元年度国庫補助金精算による返還金
38	在宅福祉事業	905万3千円	配食サービス事業の利用者増による
38	老人福祉施設管理事業	705万9千円	穂高、三郷、明科福祉センターの施設修繕など
40	後期高齢者医療事業	4,839万2千円	療養給付費負担金額の確定による
40	児童館運営費	220万5千円	民営児童クラブへの運営経費等に対する補助
42	公立認定こども園整備費	293万7千円	たつみ認定こども園建設工事に伴う境界確定測量による
42	保育政策費	870万1千円	保育事業者への補助対象額となる施設整備費の増による

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
42	認定こども園管理費	△194万6千円	新型コロナウイルス感染拡大による地域おこし協力隊の雇用期間変更(4月採用から11月採用へ)など
44	社会就労センター管理費	△149万6千円	三郷社会就労センター空調機改修費の確定など
衛生費			
46	保健衛生総務費	105万6千円	新型コロナウイルス感染症対策として、一定の高齢者や基礎疾患を有する者に対し、PCR検査費用や抗原定量検査費用の助成など
48	成人検診事業	△2,653万5千円	新型コロナウイルス感染拡大により、各種検診を中止としたことによる減など
48	母子保健事業	△222万円	新型コロナウイルス感染拡大により、健康診査、健康相談等、各種事業を中止したことによる減
農林水産業費			
54	農業生産振興費	131万1千円	水田農業の経営安定のため、酒米から需要の高い麦への作付け転換に対する補助など
54	水田農業振興事業	△174万4千円	経営所得安定対策等推進事業の補助金交付額決定による
56	直売加工施設運営事業	△191万1千円	新型コロナウイルス感染拡大の影響から、堀金物産センターの施設利用料減額に伴う基金積立金の減など
56	安曇野の里運営事業	173万3千円	不要となったプラザ安曇野附属建築物の撤去
56	中山間地域等支援事業	△247万3千円	中山間地域等直接支払交付金の交付見込額確定による
58	林業振興事業	273万9千円	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、長峰山森林体験交流センターへの休業要請に対する営業補償費など
土木費			
62	都市公園等維持管理事業	△291万2千円	新型コロナウイルス感染拡大により、「信州安曇野花とみどりのシンポジウム」を中止としたことによる減
教育費			
66	事務局費	922万円	新型コロナウイルス感染症対策として実施するGIGAスクール構想の早期導入に対する支援業務委託など

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
68	小学校施設維持修繕事業	112万3千円	各小学校における施設修繕費の計上など
70	中学校教育振興費	△894万8千円	新型コロナウイルス感染拡大による海外ホームステイ交流派遣事業の中止など
70	中学校施設維持修繕事業	122万8千円	各中学校における施設修繕費の計上など
74	文書館費	512万6千円	屋内消火栓施設の劣化に伴う修繕など
74	放課後・家庭教育推進費	△209万8千円	新型コロナウイルス感染拡大により、放課後子ども教室を休止(9月末まで)したことによる運営経費の減など
78	社会体育施設管理費	254万5千円	堀金総合体育館の消防用設備点検による消防設備等の修繕、及び県民豊科運動広場の防球ネット増設工事など
78	市民プール管理費	△1,180万1千円	市民プール解体設計業務費の確定による
	災害復旧費		
80	耕地災害復旧事業	3億3,932万円	令和2年7月豪雨及び8月末の集中豪雨により発生した耕地施設災害における復旧費の計上
	参考		
83	職員人件費 (報酬・給料・手当・共済)	△1,494万4千円	報酬(△232万円) 給料(△930万円) 手当(△77万4千円) 共済(△255万円)

5 債務負担行為

次の事業については、複数年にわたる事業のため債務負担行為の設定をします。

1 追加

事項	期間	限度額	内容
エネルギーサービスプロバイダー業務	令和3年度から 令和5年度まで	6,051万円	電気料金削減のため、エネルギーサービスプロバイダーとの契約が複数年となるため
福岡市東区市民交流事業	令和3年度まで	238万5千円	「博多どんたく港まつり」の市民ツアー開催にあたり、旅行業者との契約期間が複数年となるため
新生児特別定額給付金給付事業	令和3年度まで	250万円	給付金給付事業の交付申請期限が令和3年4月30日となり、事業が複数年となるため
三郷西部認定こども園建設設計業務	令和3年度まで	1,200万円	設計業務期間が複数年となるため
舗装補修工事	令和3年度まで	5,300万円	工事期間が複数年となるため
小学校学習用端末購入	令和3年度まで	1億800万円	GIGA スクール構想における学習用端末購入について、契約期間が複数年となるため
指定管理による豊科交流学習センター管理業務	令和3年度から 令和5年度まで	3,160万円	指定管理期間が複数年となるため
図書館管理システム賃貸借	令和3年度から 令和8年度まで	6,217万5千円	業務の契約期間が複数年となるため

2 変更

事業名	補正前		補正後		変更の理由
	期間	限度額	期間	限度額	
安曇野市議会だより作成印刷業務	令和3年度 まで	380万2千円	補正前と同じ	429万3千円	業務内容の変更による

【参考】

令和2年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第7号）	56,613,000	772,000	57,385,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算（第2号）	9,895,430		9,895,430
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算（第1号）	1,375,021		1,375,021
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（第3号）	9,598,355	17,789	9,616,144
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	2,901		2,901
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,037		1,037
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,198		1,198
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,011		1,011
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,017		1,017
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算（第1号）	1,084,696		1,084,696
安曇野市有明荘特別会計 補正予算（第1号）	7,702		7,702
特別会計合計	21,968,368	17,789	21,986,157
総 計（一般会計+特別会計）	78,581,368	789,789	79,371,157

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計 （第1号）	収益的収入	2,349,830	0	2,349,830
	収益的支出	1,911,090	△4,963	1,906,127
	資本的収入	269,319	0	269,319
	資本的支出	1,738,950	0	1,738,950
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,396,348	0	4,396,348
	収益的支出	3,773,888	8,350	3,782,238
	資本的収入	777,699	0	777,699
	資本的支出	2,532,549	0	2,532,549

令和2年度一般会計補正予算（補正第8号）の概要等

1 令和2年度一般会計補正予算（補正第8号）の編成方針等

○ 基本事項

新型コロナウイルス感染拡大に対する生活支援として、ひとり親世帯に対し、臨時特別給付金を再支給することについて追加予算を計上する。

2 補正予算見積状況

補正予算額	6,100万円
補正前の予算額	573億8,500万円
補正後の予算額	574億4,600万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
61,000	61,000	0	0	0

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書P	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	国庫支出金			
10	ひとり親世帯臨時特別給付金事業国庫補助金	6,100万円	ひとり親世帯臨時特別給付金事業	新型コロナウイルス感染拡大への生活支援として、児童扶養手当受給世帯等へ給付する臨時特別給付金（5万円/世帯、第2子以降3万円/人）に対する国庫補助金

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	民生費		
12	ひとり親世帯臨時特別給付金事業	6,100万円	新型コロナウイルス感染拡大への生活支援として、児童扶養手当受給世帯等へ臨時特別給付金（5万円/世帯、第2子以降3万円/人）を給付する ※本年度2回目となる再給付

【参考】

令和2年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第8号）	57,385,000	61,000	57,446,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算（第2号）	9,895,430		9,895,430
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算（第1号）	1,375,021		1,375,021
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（第3号）	9,616,144		9,616,144
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	2,901		2,901
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,037		1,037
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,198		1,198
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,011		1,011
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,017		1,017
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算（第1号）	1,084,696		1,084,696
安曇野市有明荘特別会計 補正予算（第1号）	7,702		7,702
特別会計合計	21,986,157	0	21,986,157
総 計（一般会計+特別会計）	79,371,157	61,000	79,432,157

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計 補正予算（第1号）	収益的収入	2,349,830		2,349,830
	収益的支出	1,906,127		1,906,127
	資本的収入	269,319		269,319
	資本的支出	1,738,950		1,738,950
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,396,348		4,396,348
	収益的支出	3,782,238		3,782,238
	資本的収入	777,699		777,699
	資本的支出	2,532,549		2,532,549

令和2年度一般会計補正予算（第9号）の概要等

1 令和2年度一般会計補正予算（第9号）の編成方針等

○ 基本事項

以下の事項に対し、追加予算を計上する。

- ・ふるさと寄附金の実績見込みによるもの
- ・参議院長野県選出議員欠員による補欠選挙の執行に必要な経費
- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保のための経費

2 補正予算見積状況

補正予算額	5億4,400万円
補正前の予算額	574億4,600万円
補正後の予算額	579億9,000万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
544,000	40,734	0	400,000	103,266

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	国庫支出金			
10	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金	4,073万4千円	ワクチン予防接種事業	新型コロナウイルスワクチン接種体制を確保するための国庫支出金
	寄附金			
10	ふるさと寄附金	4億円	寄附採納事務	ふるさと寄附金の実績見込みによる
	繰入金			
10	財政調整基金繰入金	1億326万6千円	一般財源	財源調整による

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	総務費		
12	寄附採納事務	5億178万1千円	寄附額の増に伴う返礼品費等の計上による
12	参議院議員(補欠)選挙費	148万5千円	参議院長野県選出議員欠員による補欠選挙の執行による
	衛生費		
14	ワクチン予防接種事業	4,073万4千円	新型コロナウイルスワクチン接種体制を確保するための導入経費
	参考		
16	一般職人件費(報酬・手当)	274万9千円	報酬(150万2千円) 手当(124万7千円)

5 債務負担行為

次の事業については、複数年にわたる事業のため債務負担行為の設定をします。

1 追加

事項	期間	限度額	内容
参議院長野県選出議員補欠選挙に係るポスター掲示板作成等業務	令和3年度まで	640万7千円	令和3年4月執行の参議院長野県選出議員補欠選挙に係る契約期間が複数年となるため
参議院長野県選出議員補欠選挙に係る選挙公報配布業務	令和3年度まで	67万3千円	令和3年4月執行の参議院長野県選出議員補欠選挙に係る契約期間が複数年となるため
参議院長野県選出議員補欠選挙に係る電算処理業務	令和3年度まで	195万8千円	令和3年4月執行の参議院長野県選出議員補欠選挙に係る契約期間が複数年となるため
参議院長野県選出議員補欠選挙に係る投開票備品整備業務	令和3年度まで	416万9千円	令和3年4月執行の参議院長野県選出議員補欠選挙に係る契約期間が複数年となるため
新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター業務	令和3年度まで	4,414万2千円	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保のため、契約期間が複数年となるため
新型コロナウイルス予防接種券等印刷発送業務	令和3年度まで	278万9千円	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保のため、契約期間が複数年となるため

【参考】

令和2年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（第9号）	57,446,000	544,000	57,990,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算（第2号）	9,895,430		9,895,430
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算（第1号）	1,375,021		1,375,021
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（第3号）	9,616,144		9,616,144
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	2,901		2,901
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,037		1,037
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,198		1,198
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,011		1,011
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算（第1号）	1,017		1,017
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算（第1号）	1,084,696		1,084,696
安曇野市有明荘特別会計 補正予算（第1号）	7,702		7,702
特別会計合計	21,986,157	0	21,986,157
総 計（一般会計+特別会計）	79,432,157	544,000	79,976,157

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計	収益的収入	2,349,830		2,349,830
	収益的支出	1,906,127		1,906,127
	資本的収入	269,319		269,319
	資本的支出	1,738,950		1,738,950
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	4,396,348		4,396,348
	収益的支出	3,782,238		3,782,238
	資本的収入	777,699		777,699
	資本的支出	2,532,549		2,532,549

令和2年度一般会計補正予算（第10号）の概要等

1 令和2年度一般会計補正予算（第10号）の編成方針等

○ 基本事項

現時点までの予算執行状況を把握・分析し、令和2年度末までの必要経費を積算した上で、予算に過不足が生じることが予測される場合であって、原則として次の事項に該当するものを補正する。

【歳入】

- ① 収入状況と予算額が乖離している（予測される）予算の補正

【歳出】

- ① 事業費の確定により、明らかに不用額となる予算の補正
 ② 国の経済対策など、年度途中で実施に踏み込む正当な事由がある事業等の補正
 ③ 市民の安全確保や利便性確保のため、緊急を要する事業等であって、既決予算を超える部分の補正
 ④ 翌年度当初からの事業実施のため、令和2年度中に対応が必要となる経費の補正
 ⑤ 新型コロナウイルス感染症対策として、速やかに実施が必要な事業の補正

2 補正予算見積状況

補正予算額	8億2,800万円
補正前の予算額	579億9,000万円
補正後の予算額	588億1,800万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
828,000	1,755,699	428,600	△176,626	△1,179,673

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	市税			
14	固定資産税現年課税分	7,000万円	一般財源	歳入見込みによる
14	環境性能割現年課税分	500万円		
14	市たばこ税現年課税分	3,000万円		
	分担金及び負担金			
14	児童クラブ負担金	△552万2千円	児童館運営費	実績見込みによる
14	耕地災害復旧事業負担金	△5,786万7千円	耕地災害復旧事業	事業費の確定による
	使用料及び手数料			
16	社会体育施設使用料	△539万円	社会体育施設管理費	実績見込みによる
16	可燃ごみ処理手数料	956万円	清掃費	実績見込みによる
16	夜間急病センター診療手数料	△937万1千円	夜間急病センター運営費	実績見込みによる
	国庫支出金			
16	児童扶養手当国庫負担金	△2,751万1千円	児童福祉総務費	負担金額の確定見込による
16	児童手当国庫負担金	△2,725万9千円	児童福祉総務費	負担金額の確定見込による
18	新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金	856万9千円	ワクチン予防接種事業	新型コロナウイルスワクチン接種の実施経費に対する国庫負担金
18	特別定額給付金給付事務費補助金	△4,456万6千円	・職員管理 ・特別定額給付金給付事業	補助額の確定による
18	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	8億9,957万5千円	・広報費 ・企画総務費 ・公共交通事業 ・飲用井戸利用者等支援給付事業 など全24事業	新型コロナウイルス感染拡大対応に対し交付される臨時交付金（既に実施されている左記事業に対する臨時交付金）

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
18	保育対策総合支援事業補助金	482 万円	保育政策費	新型コロナウイルス感染症予防対策として、市内保育所等への感染症対策用品購入等に対する補助
18	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金	357 万 2 千円	ワクチン予防接種事業	新型コロナウイルスワクチン接種の体制確保経費に対する国庫補助金
18	道路改良費補助金	2,102 万 1 千円	社会資本整備総合交付金事業	交付金の追加内示による
18	住宅・建築物安全ストック形成事業補助金	△808 万 2 千円	耐震化推進事業	事業の実績見込みによる
18	社会資本整備総合交付金(体育館分)	8 億 6,850 万円	新総合体育館建設事業	交付金の追加内示による
18	学校施設環境改善交付金	905 万 1 千円	・小学校施設改修事業 ・中学校施設改修事業	交付金の追加内示による
県支出金				
20	児童手当県費負担金	△497 万 6 千円	児童福祉総務費	負担金の確定見込みによる
20	後期高齢者医療保険基盤安定負担金	△1,716 万円	後期高齢者医療事業	負担金額の確定による
20	市町村合併特例交付金	△1,530 万円	都市計画総務費	交付額の確定による
20	経営体育成支援事業補助金	4,421 万円	担い手支援事業	補助金の追加要望による
20	産地パワーアップ事業	△750 万円	農業生産振興費	事業の確定による
20	多面的機能支払推進交付金	△2,086 万 4 千円	多面的機能支払交付金事業	交付金内示額決定による
20	耕地災害復旧事業費補助金	7,321 万 1 千円	耕地災害復旧事業	補助額の確定による

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	財産収入			
24	市有地売払収入	462万9千円	一般財源	売払い実績による
24	不用品売払収入	214万4千円	一般財源	公用車の売払い実績による
	繰入金			
24	財政調整基金繰入金	△12億9,243万円	一般財源	財源調整による
24	霊園基金繰入金	△1,196万8千円	霊園管理費	繰入先事業費の確定による
24	ふるさと寄附基金繰入金	△8,055万2千円	・安曇野市子育て世帯 支援臨時給付金事業 ・しごと創出事業 ・小学校総務管理費	繰入先事業費の確定による
	諸収入			
26	市町村振興協会交付金	△316万6千円	図書館費	交付決定による
26	人件費負担金(財産管理課)	1,074万円	・一般管理費 ・土木総務費	交通安全施設等整備事業(明科駅前歩道整備事業)に係る土地開発公社からの人件費負担金
26	しゃくなげの湯外施設使用料	△578万円	・温泉活用施設事業 ・施設管理整備事業	新型コロナウイルス感染拡大による納付金免除(しゃくなげの湯、湯多里山の神)
26	消防団員退職報償金	△316万6千円	非常備消防費	報償金の確定による
	市債			
28	旧合併特例事業債	△5億4,460万円	都市公園等維持管理事業	対象事業費の確定による △950万円
			・市道新設改良事業 ・社会資本整備総合交付金事業	道路改良事業、橋梁修繕事業、舗装修繕事業の確定による △1億2,440万円
			新総合体育館建設事業	対象事業費の確定による ※国の追加内示に伴う公共事業等債への一部振替 △4億1,070万円

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
28	公共事業等債	9億5,540万円	県営土地改良事業	対象事業費の確定による △1,100万円
			社会資本整備総合 交付金事業	国の追加内示による道路改 良事業、橋梁修繕事業、舗 装修繕事業の追加実施に よる 7,770万円
			都市公園等維持管 理事業	国の追加内示による公園施 設長寿命化事業の追加実施 による 900万円
			新総合体育館建設 事業	国の追加内示による新総合 体育館建設事業の追加実施 8億6,980万円
28	学校教育施設等整備事業債	1,780万円	中学校施設改修事業	対象事業費の確定による △110万円
			・小学校施設改修事業 ・中学校施設改修事業	国の追加内示による学校 施設改修事業の追加実施 による 1,890万円

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	総務費		
32	文書管理費	800万円	郵便料の増による
36	公共交通事業	231万円	安曇野市地域公共交通協議会への 負担見込額の確定による
36	水資源対策費	△273万3千円	資金調達専門部会運営支援事業費 の確定など
38	電算管理費	△399万7千円	電算システム更新費の確定など
42	特別定額給付金給付事業	△4,469万1千円	事業費の確定による減

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
民生費			
48	障がい者支援事業	7,082万2千円	障害福祉サービス給付費の増加、自立支援給付費の確定など
50	地域生活支援事業	△740万7千円	事業費の確定による
50	障がい者福祉総務費	△786万6千円	特別障害者・障害児福祉手当の確定など
52	母子福祉事業	△635万円	母子生活支援施設入所者減など
52	国保会計繰出金	△708万9千円	繰出金の確定による
52	老人福祉施設管理事業	△731万5千円	明科総合福祉センター屋内給水設備更新工事費の確定など
54	介護保険対策費	△821万6千円	繰出金の確定による
54	後期高齢者医療事業	△3,323万8千円	繰出金の確定による
54	児童福祉総務費	△1億2,253万円	児童手当、児童扶養手当の確定など
56	安曇野市子育て世帯支援臨時給付金事業	△4,660万8千円	事業費の確定による
58	保育政策費	1,562万3千円	新型コロナウイルス感染症対策予防用品の購入、子どものための教育・保育給付費の確定など
衛生費			
62	健康増進事業	△419万8千円	若年者検診など、事業費の確定による
62	ワクチン予防接種事業	1,214万1千円	新型コロナウイルスワクチン接種の実施経費など
64	霊園管理費	△617万9千円	穂高墓地公園内改修工事費の確定などによる
66	清掃費	456万8千円	可燃・不燃ごみの収集運搬費の増など
農林水産業費			
72	農業生産振興費	△864万6千円	産地パワーアップ事業の取止めなど

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
74	ほりで一ゆ～運営事業	△804万7千円	電気設備工事費の確定など
74	担い手支援事業	4,421万円	担い手確保経営強化支援事業における国の追加内示による
76	市有林の造成及び管理	△643万7千円	市有林森林整備事業費の確定など
78	多面的機能支払交付金事業	△2,776万8千円	多面的機能活動支援補助金の確定による
商工費			
80	JR・高速乗合バス利用対策事業	△307万8千円	駅管理業務費の確定による
80	工業振興事業	△3,067万1千円	企業等支援助成事業費の確定による
82	しごと創出事業	△684万4千円	空き店舗等活用促進事業費、UIJターン就業・創業移住支援事業費の確定など
82	観光イベント事業	△1,847万円	新型コロナウイルス感染拡大による観光イベント事業の中止による減額
82	安曇野ブランド情報発信事業	△360万5千円	新型コロナウイルス感染拡大による情報発信事業の中止による減額
土木費			
86	市道新設改良事業	△5,690万円	事業費の確定などによる
86	社会資本整備総合交付金事業	4,977万3千円	国交付金の追加内示による事業追加(道路舗装修繕、橋梁点検、橋梁修繕)
88	都市計画総務費	△1,680万1千円	安曇追分駅、有明駅前駐輪場屋根設置工事の取止めなど
88	耐震化推進事業	△1,518万1千円	住宅耐震化事業補助金の確定見込みによる
88	新総合体育館建設事業	13億3,579万8千円	国交付金の追加内示による事業追加など
90	下水道事業	△3,578万円	下水道事業繰出金の確定による
90	住宅管理費	△842万3千円	長寿命化工事の事業費確定など

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
消防費			
92	非常備消防費	△1,848万9千円	消防団車両購入費の確定など
教育費			
94	事務局費	△822万1千円	GIGAスクール構想対応による小中学校パソコン利用環境構築業務費の確定など
94	学校支援員配置事業	△1,200万円	学校配置支援員への人件費確定など
98	小学校教育振興費	△556万2千円	外国語教育コーディネーターへの人件費確定など
98	小学校施設改修事業	792万円	国交付金の追加内示による小学校施設改修工事(明北小学校)の実施など
100	中学校総務管理費	△911万5千円	部活指導員等、人件費の減など
100	中学校施設改修事業	1,172万2千円	国交付金の追加内示による中学校施設改修工事(豊科南中学校)の実施など
108	青少年健全育成費	△560万1千円	成人式延期による減など
112	図書館費	△607万3千円	図書館システム借上料の確定など
114	スポーツ推進事業費	△646万9千円	スポーツ教室開催費の確定など
災害復旧費			
116	道路災害復旧事業	△500万円	事業費の確定による
参考			
118	職員人件費 (報酬・給料・手当・共済)	△6,029万8千円	報酬(△1,904万5千円) 給料(△290万円) 手当(△3,735万3千円) 共済(△100万円)

5 繰越明許費

次の事業については、年度内に事業が完了しない見込みのため繰越します。

事業名	金額	繰越理由
保育総務費	654万2千円	国の補正予算により保育対策総合支援事業補助金を受けて実施する事業であり、年度内での事業完了が困難であるため
担い手・集落支援事業	5,421万円	国の補正予算により経営体育成支援事業補助金を受けて実施する事業であり、年度内での事業完了が困難であるため
市道新設改良事業（交付金）	1億2,540万円	国の補正予算により社会資本整備総合交付金を受けて実施する事業であり、年度内での事業完了が困難であるため
道路橋梁修繕事業（交付金）	1億5,310万7千円	国の補正予算により社会資本整備総合交付金を受けて実施する事業であり、年度内での事業完了が困難であるため
都市再生整備計画事業(明科駅周辺)	2億6,267万3千円	都市構造再編集中支援事業費補助を受けて実施する事業であり、年度内での事業完了が困難であるため
公園施設長寿命化事業	2,000万円	国の補正予算により社会資本整備総合交付金を受けて実施する事業であり、年度内での事業完了が困難であるため
新総合体育館建設事業	20億6,210万2千円	国の補正予算により社会資本整備総合交付金を受けて実施する事業であり、年度内での事業完了が困難であるため
明北小学校施設改修事業	2,009万7千円	国の補正予算により学校施設環境改善交付金を受けて実施する事業であり、年度内での事業完了が困難であるため
豊科南中学校施設改修事業	1,330万6千円	国の補正予算により学校施設環境改善交付金を受けて実施する事業であり、年度内での事業完了が困難であるため
耕地災害復旧事業	3億3,201万円	令和2年7月豪雨災害により耕地災害復旧事業費補助金を受けて実施する事業（豊科光、熊倉堰堤被災）であり、年度内での事業完了が困難であるため

6 債務負担行為

以下のとおり、債務負担行為の補正を行います。

1 追加

事業名	限度額	期間	設定を必要とする理由
庁舎間メール便等業務	275 万円	令和 3 年度まで	来年度庁舎間メール便等運行業務に係る契約のため
コミュニティ FM 市政情報放送業務	792 万円	令和 3 年度まで	来年度放送業務に係る契約のため
広報あづみの印刷業務	1,687 万円	令和 3 年度まで	来年度広報印刷業務に係る契約のため
明科総合福祉センターエアコン更新事業	8,806 万円	令和 3 年度まで	来年度エアコン更新業務に係る契約のため
穂高北部児童館敷地造成工事	4,020 万 6 千円	令和 3 年度まで	敷地造成工事の早期着手のため
空き店舗等活用促進事業	722 万 4 千円	令和 3 年度まで	事業補助の交付期間が複数年となるため
地域経済牽引企業工場用地取得事業	826 万 6 千円	令和 3 年度から令和 4 年度まで	事業補助の交付期間が複数年となるため
指定管理によるかじかの里公園管理業務	1,989 万 6 千円	令和 3 年度から令和 7 年度まで	指定管理期間が複数年となるため
聖火リレーセレモニー会場等運営設営業務	499 万 1 千円	令和 3 年度まで	来年度聖火リレー会場等運営設営業務に係る契約のため

2 変更

事業名	補正前		補正後		変更の理由
	期間	限度額	期間	限度額	
新型コロナウイルス予防接種券等印刷発送業務	令和 3 年度まで	278 万 9 千円	補正前と同じ	498 万 9 千円	事業内容の変更に伴う限度額の見直しによる

【参考】

令和2年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算 (第10号)	57,990,000	828,000	58,818,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算 (第3号)	9,895,430	△569,802	9,325,628
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算 (第2号)	1,375,021	△83,348	1,291,673
安曇野市介護保険特別会計 補正予算 (第4号)	9,616,144	△2,633	9,613,511
安曇野市上川手山林財産区特別会計 補正予算 (第1号)	2,901		2,901
安曇野市北の沢山林財産区特別会計 補正予算 (第2号)	1,037	2	1,039
安曇野市有明山林財産区特別会計 補正予算 (第2号)	1,198	5	1,203
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計 補正予算 (第1号)	1,011		1,011
安曇野市穂高山林財産区特別会計 補正予算 (第1号)	1,017		1,017
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算 (第2号)	1,084,696	△26,000	1,058,696
安曇野市有明荘特別会計 補正予算 (第1号)	7,702		7,702
特別会計合計	21,986,157	△681,776	21,304,381
総 計 (一般会計+特別会計)	79,976,157	146,224	80,122,381

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額	
安曇野市水道事業会計 補正予算	収益的収入	2,349,830	△35,172	2,314,658
	収益的支出	1,906,127	△10,893	1,895,234
	資本的収入	269,319	△1,225	268,094
	資本的支出	1,738,950	△2,320	1,736,630
安曇野市下水道事業会計 補正予算	収益的収入	4,396,348	△36,015	4,360,333
	収益的支出	3,782,238	△42,676	3,739,562
	資本的収入	777,699	10,924	788,623
	資本的支出	2,532,549	△11,208	2,521,341

令和2年度一般会計補正予算（専決第1号）の概要等

1 令和2年度一般会計補正予算（専決第1号）の編成方針等

○ 基本事項

令和2年度の最終補正とし、決算を踏まえた歳入の整理、及び歳出不執行額の整理を中心として行うものとする。

2 補正予算見積状況

補正予算額	△7億7,300万円
補正前の予算額	588億1,800万円
補正後の予算額	580億4,500万円

(参考)

(単位 千円)

補正額	補正予算額の財源内訳			
	特定財源			一般財源
	国県支出金	地方債	その他	
△773,000	△178,807	△211,800	△464,575	82,182

3 歳入の主な増額・減額項目

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	市税			
14	法人市民税現年課税分	△1,450万円	一般財源	歳入見込額による
	地方譲与税			
14	地方揮発油譲与税	△396万2千円	一般財源	交付実績による
14	自動車重量譲与税	△1,593万8千円	一般財源	交付実績による
	配当割交付金			
14	配当割交付金	938万5千円	一般財源	交付実績による
	株式等譲渡所得割交付金			
16	株式等譲渡所得割交付金	3,558万1千円	一般財源	交付実績による
	法人事業税交付金			
16	法人事業税交付金	△416万4千円	一般財源	交付実績による
	地方消費税交付金			
16	地方消費税交付金	2,190万1千円	一般財源	交付実績による
	ゴルフ場利用税交付金			
16	ゴルフ場利用税交付金	△311万4千円	一般財源	交付実績による
	環境性能割交付金			
16	環境性能割交付金	△893万8千円	一般財源	交付実績による
	地方交付税			
16	特別交付税	7,537万2千円	一般財源	交付実績による
	分担金及び負担金			
18	保育児童保育料	△540万3千円	・認定こども園管理費 ・保育政策費	保育料収入の実績による
18	突発長時間保育料	△152万円	認定こども園管理費	突発長時間保育収入の実績による

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
	使用料及び手数料			
18	豊科南部総合公園テニスコート使用料	△145万円	都市公園等維持管理事業	使用実績による
20	戸籍住民基本台帳手数料	△297万2千円	戸籍住民基本台帳管理費	証明書交付実績による
	国庫支出金			
22	新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金	△856万9千円	ワクチン予防接種事業	事業実績による
22	個人番号カード交付事業費補助金	△2,735万4千円	戸籍住民基本台帳管理費	事業実績による
22	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	1億6,288万2千円	・本庁舎管理費 ・新生児特別定額給付金給付事業 ・安曇野市子育て世帯支援臨時給付金事業 など全27事業	新型コロナウイルス感染拡大対応に対し交付される臨時交付金（既に行われている左記事業等に対する臨時交付金）
22	地域生活支援事業補助金	△625万7千円	・障がい者支援センター費 ・地域生活支援事業	事業実績による
22	子育て世帯への臨時特別給付金事業国庫補助金	△2,329万5千円	子育て世帯臨時特別給付金事業	事業実績による
22	ひとり親世帯臨時特別給付金事業国庫補助金	△3,519万2千円	ひとり親世帯臨時特別給付金事業	事業実績による
22	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金	△795万3千円	ワクチン予防接種事業	事業実績による
22	道路改良費補助金	△6,534万1千円	社会資本整備総合交付金事業	事業実績による
24	国民年金事務委託金	507万8千円	国民年金事務費	事務実績による
	県支出金			
26	福祉医療給付事業補助金	△4,378万4千円	福祉医療費給付事業	事業実績による

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
26	経営体育成支援事業補助金	△3,418万3千円	担い手支援事業	国の事業採択決定による
26	森林健全化推進事業補助金	△2,558万1千円	松くい虫被害対策事業	事業実績による
26	森林造成事業費補助金	△583万1千円	市有林の造成及び管理	事業実績による
26	地域支えあいプラスワン消費促進事業補助金	△601万3千円	・新型コロナウイルス感染症対策事業 ・新型コロナウイルス感染症対策宿泊施設関連支援事業	事業実績による
寄附金				
28	ふるさと寄附金	7,024万6千円	・寄附採納事務	寄附金額の実績による
28	企業版ふるさと納税	300万円	・認定こども園管理費	寄附申出による
繰入金				
30	財政調整基金繰入金	△1億4,385万7千円	一般財源	財源調整による
30	減債基金繰入金	△2億円	長期借入金償還元金	一般財源による財源振替
30	公共施設整備基金繰入金	△6千万円	・認定こども園管理費 ・市道新設改良事業 ・事務局費 ・穂高幼稚園運営費	一般財源による財源振替
30	地域振興基金繰入金	△661万2千円	・秘書・渉外 ・協働のまちづくり推進事業 ・区等地域力向上事業 ・中央公民館事業費	充当先事業費の確定による
30	入学準備金貸付基金繰入金	△336万円	事務局費	充当先事業費の確定による
30	ふるさと寄附基金繰入金	△2億2,229万2千円	・安曇野市子育て世帯支援臨時給付金事業 ・しごと創出事業	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による財源振替など ※振替事業：安曇野市子育て世帯支援臨時給付金事業

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
30	福祉基金繰入金	△2,750万円	・新生児特別定額給付金給付事業	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による財源振替
諸収入				
32	派遣職員給与費負担金	1,589万2千円	一般管理費	派遣職員給与費の確定による
32	建物総合損害共済金	977万4千円	・ファインビュー室山運営事業 ・ほりでーゆ〜運営事業	共済金額の確定による
34	資源売却代	△853万6千円	・清掃費 ・ごみ減量化再利用対策事業 ・リサイクルセンター管理運営事業	資源売却実績による
34	スポーツ振興くじ助成金	△702万1千円	観光イベント事業	安曇野ハーフマラソン大会中止による
市債				
36	旧合併特例事業債	△1億1,160万円	・財産管理費 ・勤労者福祉事業	押野集会施設及び勤労者福祉センターの解体事業費確定による △770万円
			公立認定こども園整備費	公立認定こども園（明科南、たつみ）整備費等の確定による △6,680万円
			児童館整備事業	穂高北部児童館整備費（設計等）の確定による △220万円
			水道事業	豊科・明科地域整備事業費（令和2年度分）の確定による △90万円
			施設管理整備事業	かじかの里トイレ整備費（設計等）の確定による △60万円
			・市道新設改良事業 ・社会資本整備総合交付金事業	道路改良等の事業費確定による △3,240万円
			消防施設維持整備事業	消防団詰所更新・統廃合事業費（第6分団1部、第3部）の確定による △100万円

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
36	公共事業等債	△10億420万円	社会資本整備総合 交付金事業	道路整備事業等（3月補正分）について、起債事業確定による防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債への変更など △7,770万円
			都市再生整備計画 事業（都市整備分）	都市再生整備計画事業（明科駅周辺）費の確定による △4,770万円
			都市公園等維持管 理事業	公園施設長寿命化事業（3月補正分）について、起債事業確定による防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債への変更 △900万円
			新総合体育館建設 事業	新総合体育館建設事業（3月補正分）について、起債事業確定による防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債への変更 △8億6,980万円
36	防災・減災・国土強靱 化緊急対策事業債	9億3,300万円	社会資本整備総合 交付金事業	道路整備事業等（3月補正分）について、起債事業確定による公共事業等債からの変更 3,790万円
			都市公園等維持管 理事業	公園施設長寿命化事業（3月補正分）について、起債事業確定による公共事業等債からの変更 900万円
			新総合体育館建設 事業	新総合体育館建設事業（3月補正分）について、起債事業確定による公共事業等債からの変更 8億6,850万円
			・小学校施設改修事 業 ・中学校施設改修事 業	小中学校施設改修事業（3月補正分）について、起債事業確定による学校教育施設等整備事業債からの変更 ※明北小学校、豊科南中学校 1,760万円
36	学校教育施設等整備 事業債	△1,890万円	・小学校施設改修事 業 ・中学校施設改修事 業	小中学校施設改修事業（3月補正分）について、起債事業確定等による防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債への変更 ※明北小学校、豊科南中学校 △1,890万円

予算書 ページ	歳入科目	増(減)額	充当先事業	主な内容
36	減収補填債	1億2,659万4千円	一般財源	新型コロナウイルス感染症の影響により減収となったたばこ税等への補填財源に対する借入 ※交付税算入あり

4 歳出の主な増額・減額項目

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
議会費			
38	議会費	△565万円	新型コロナウイルス感染拡大による研修・視察の中止などによる
総務費			
40	寄附採納事務	5,233万7千円	ふるさと寄附基金積立金の確定などによる
40	職員管理	△1,644万円	職員諸手当の確定などによる
42	公用車管理費	△829万9千円	公用車燃料費等の確定による
48	税務総務費	△3,263万2千円	法人税中間申告による還付金の確定等による
48	戸籍住民基本台帳管理費	△2,882万8千円	個人番号カードの交付等に伴う委託作業経費の確定などによる
民生費			
52	福祉医療費給付事業	△7,347万6千円	福祉医療費の給付確定などによる
52	障がい者支援事業	△3,371万3千円	障害福祉サービス費等の確定による
54	国保会計繰出金	△1,760万1千円	国民健康保険特別会計繰出金額の確定による
58	介護保険対策費	△3,675万9千円	介護保険特別会計繰出金額の確定などによる

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
60	子育て世帯臨時特別給付金事業	△2,329万5千円	特別給付金支給額の確定などによる
60	ひとり親世帯臨時特別給付金事業	△3,519万2千円	特別給付金支給額の確定などによる
62	公立認定こども園整備費	△2,309万円	認定こども園（明科南、たつみ、上川手）整備費の確定による
62	保育政策費	△5,334万3千円	子どものための教育・保育給付費負担金額の確定などによる
64	認定こども園管理費	△1億1,843万7千円	保育士報酬額の確定などによる
66	生活保護総務費	△4,334万5千円	生活保護扶助費の確定などによる
衛生費			
68	成人検診事業	△979万6千円	検診実績による
70	ワクチン予防接種事業	△1,628万9千円	ワクチン接種コールセンター業務委託費の確定など
70	妊婦・乳児一般健康診査事業	△1,105万3千円	妊婦健康診査実績による
74	清掃費	△710万4千円	ごみ収集運搬委託費の確定などによる
労働費			
78	勤労者福祉事業	△290万4千円	勤労者福祉センター除却費の確定による
農林水産業費			
80	消費拡大対策事業	△246万2千円	農家通販サイト出店手数料補助費の確定などによる
82	ほりで一ゆ～運営事業	△228万7千円	ほりで一ゆ～四季の郷改修工事費の確定などによる
82	担い手支援事業	△3,446万6千円	経営体育成支援事業（国の採択）による交付対象者確定などによる

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
84	松くい虫被害対策事業	△1,168万5千円	松枯損木伐倒処理委託費の確定などによる
84	間伐対策事業	△213万2千円	森林造成事業補助金額の確定による
86	土地改良施設維持管理適正化事業	△240万円	土地改良区建設負担金額の確定による
86	公共施設等適正管理推進事業	△223万3千円	農道舗装工事の事業費確定による
商工費			
88	工業振興事業	4億1,485万1千円	産業団地造成事業の工事費精算に対する産業団地特別会計繰出金など ※繰出分については、土地売却収入により令和3年度一般会計補正予算(第2号補正)にて補填
88	市制度資金貸付事業	△1,646万円	制度資金保証料補給金の確定などによる
88	新型コロナウイルス感染症対策事業	△1,274万円	プレミアム付商品券事業費の確定などによる
90	新型コロナウイルス感染症対策宿泊施設関連支援事業	△1,054万4千円	ホテル・ペンション宿泊補助券事業費の確定による
土木費			
94	除雪対策費	△2,142万4千円	除雪の実施実績による
96	市道新設改良事業	△3,518万円	市道新設改良事業(合併特例事業債)における物件移転補償等、事業実績による
96	社会資本整備総合交付金事業	△9,113万3千円	道路改良における工事請負費等、事業実績による
96	河川総務費	△1,389万3千円	内水対策事業費(令和2年度分)の確定による
98	都市再生整備計画事業(都市整備分)	△4,660万4千円	都市再生整備計画事業(明科駅周辺)費(令和2年度分)の確定による

予算書 ページ	事業名	増(減)額	主な内容
	消防費		
100	災害対策費	△1,427万8千円	自主防災組織防災活動支援補助金等、事業費の確定による
	教育費		
102	事務局費	△1,171万2千円	児童生徒各種大会等出場者補助や入学準備金貸付補助など、各事業費の確定による
102	学校バス運行事業	△1,617万1千円	スクールバス運行業務実績等による
104	小学校総務管理費	△2,868万4千円	市内小学校における光熱水費など、管理実績による
106	中学校総務管理費	△1,984万2千円	市内中学校における光熱水費など、管理実績による
108	穂高幼稚園運営費	△984万2千円	報酬等、運営実績による
110	交流学習センター等管理費	△1,397万2千円	市内交流学習センターにおける光熱水費など、管理実績による
	災害復旧費		
116	林道災害復旧事業	△531万3千円	林道(舟ヶ沢線)災害復旧費の確定による
	公債費		
118	長期借入金償還元金	△2,079万2千円	償還元金の確定による
118	長期借入金償還利子	△2,996万5千円	償還利子の確定による
	参考		
121	一般職員人件費 (報酬・給料・手当・共済)	△1億6,259万1千円	報酬 (△1億1,586万9千円) 給料 (△467万2千円) 手当 (△3,957万2千円) 共済 (△247万8千円)

5 繰越明許費

次の事業については、年度内に事業が完了しない見込みのため繰越します。

1 追加

事業名	金額	繰越理由
市民総務費	113万3千円	戸籍法等改正に伴う住民基本台帳システムの改修について、国の予算が繰越されたこと等、年度内での事業完了が困難となったため

6 債務負担行為

以下のとおり、債務負担行為の補正を行います。

1 追加

事業名	限度額	期間	設定を必要とする理由
令和3年（行コ）第14号固定資産評価審査決定取消請求控訴事件	委託事務の処理にあたる報酬及び調停費用	事件結果が判明する日まで	結審に複数年を要するため
指定管理による三郷やすらぎ空間施設管理業務	446万5千円	令和3年度から令和7年度まで	指定管理期間が複数年となるため
指定管理による安曇野市豊科安曇野の里自然活用村施設（プラザ安曇野1階西）管理業務	384万円	令和3年度から令和7年度まで	指定管理期間が複数年となるため

2 変更

事業名	補正前		補正後		変更の理由
	期間	限度額	期間	限度額	
新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター業務	令和3年度まで	4,414万2千円	補正前と同じ	4,880万6千円	事業内容の変更に伴う限度額の見直し
地域経済牽引企業工場用地取得事業	令和3年度から令和4年度まで	826万6千円	補正前と同じ	840万円	事業内容の変更に伴う限度額の見直し

【参考】

令和2年度安曇野市各会計補正予算額一覧

単位：千円

会 計 名	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市一般会計 補正予算（専決第1号）	58,818,000	△773,000	58,045,000
安曇野市国民健康保険特別会計 補正予算（専決第1号）	9,325,628	△78,007	9,247,621
安曇野市後期高齢者医療特別会計 補正予算（専決第1号）	1,291,673	△577	1,291,096
安曇野市介護保険特別会計 補正予算（専決第1号）	9,613,511	△68,809	9,544,702
安曇野市上川手山林財産区特別会計	2,901		2,901
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	1,039		1,039
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,203		1,203
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	1,011		1,011
安曇野市穂高山林財産区特別会計	1,017		1,017
安曇野市産業団地造成事業特別会計 補正予算（専決第1号）	1,058,696	△8,218	1,050,478
安曇野市有明荘特別会計 補正予算（専決第1号）	7,702	△1,063	6,639
特別会計合計	21,304,381	△156,674	21,147,707
総 計（一般会計+特別会計）	80,122,381	△929,674	79,192,707

会 計 名 等	補正前の予算額	補正額	補正後の予算額
安曇野市水道事業会計 補正予算	収益的収入	2,314,658	2,314,658
	収益的支出	1,895,234	1,895,234
	資本的収入	268,094	268,094
	資本的支出	1,736,630	1,736,630
安曇野市下水道事業会計 補正予算	収益的収入	4,360,333	4,360,333
	収益的支出	3,739,562	3,739,562
	資本的収入	788,623	788,623
	資本的支出	2,521,341	2,521,341

4 令和2年度予算の執行状況（令和3年3月末時点）

令和2年度予算の令和3年3月末時点の予算執行状況は次のとおりです。

なお、予算現額は、繰越明許費、事故繰越しを含む金額となりますので、最終予算額と一致しない場合があります。

各会計予算の執行

（単位：千円、％）

会計名称	予算現額	歳 入		歳 出		歳入歳出 差引残額	歳出執行率
		調定額	収入累計	支出累計	予算残額		
一般会計	58,819,539	56,789,389	49,589,212	47,883,588	10,935,951	1,705,624	81.4
国民健康保険	9,247,621	9,508,848	8,454,968	8,555,878	691,743	△ 100,910	92.5
後期高齢者医療	1,291,096	1,303,295	1,267,430	1,242,019	49,077	25,411	96.2
介護保険	9,544,702	9,562,630	8,584,517	8,584,127	960,575	390	89.9
上川手山林財産区	2,901	2,904	2,904	336	2,565	2,568	11.6
北の沢山林財産区	1,039	1,070	1,070	159	880	911	15.3
有明山林財産区	1,203	1,204	1,204	95	1,108	1,109	7.9
富士尾沢山林財産区	1,011	1,013	1,013	36	975	977	3.6
穂高山林財産区	1,017	1,019	1,019	34	983	985	3.3
産業団地造成事業	1,050,478	1,050,478	528,217	646,494	403,984	△ 118,277	61.5
有明荘	6,639	6,639	6,612	6,607	32	5	99.9
	79,967,246	78,228,489	68,438,166	66,919,373	13,047,873	1,518,793	83.7

一般会計歳入予算の執行

(単位：千円、%)

款 名 称	予算現額 A	調定額 B	収入累計 C	予算比較	調定比較	収入率
				E (A-C)	D (B-C)	(C ÷ B) × 100
0 1 市税	11,709,553	12,246,591	11,199,039	510,514	1,047,552	91.4
0 2 地方譲与税	494,666	494,666	494,666	0	0	100.0
0 3 利子割交付金	10,522	10,522	10,522	0	0	100.0
0 4 配当割交付金	46,385	46,385	46,385	0	0	100.0
0 5 株式等譲渡割交付金	53,581	53,581	53,581	0	0	100.0
0 6 法人事業税交付金	107,836	107,836	107,836	0	0	100.0
0 7 地方消費税交付金	2,106,901	2,106,901	2,106,901	0	0	100.0
0 8 ゴルフ場利用税交付金	32,886	32,886	32,886	0	0	100.0
0 9 環境性能割交付金	33,062	33,062	33,062	0	0	100.0
1 0 地方特例交付金	118,231	118,231	118,231	0	0	100.0
1 1 地方交付税	10,938,127	10,938,127	10,938,127	0	0	100.0
1 2 交通安全対策交付金	14,735	14,735	14,735	0	0	100.0
1 3 分担金及び負担金	384,666	277,911	253,751	130,915	24,160	91.3
1 4 使用料及び手数料	300,413	306,184	281,405	19,008	24,779	91.9
1 5 国庫支出金	16,890,885	15,759,999	14,485,610	2,405,275	1,274,389	91.9
1 6 県支出金	2,643,833	2,415,635	1,455,257	1,188,576	960,378	60.2
1 7 財産収入	65,419	67,034	64,362	1,057	2,672	96.0
1 8 寄附金	1,080,873	1,080,875	1,080,850	23	25	100.0
1 9 繰入金	2,100,716	2,097,158	514,624	1,586,092	1,582,534	24.5
2 0 繰越金	811,718	811,718	811,718	0	0	100.0
2 1 諸収入	2,608,109	2,823,330	2,562,636	45,473	260,694	90.8
2 2 市債	6,266,422	4,946,022	1,423,028	4,843,394	3,522,994	28.8
3 0 一時借入金	0	0	1,500,000	△ 1,500,000	△ 1,500,000	-
3 1 歳計外現金繰替運用	0	0	0	0	0	-
	58,819,539	56,789,389	49,589,212	9,230,327	7,200,177	87.3

一般会計歳出予算の執行

(単位：千円、%)

款 名 称	予算現額 A	支出累計 B	予算比較	執行率
			C (A-B)	(B ÷ A) × 100
0 1 議会費	232,887	226,724	6,163	97.4
0 2 総務費	15,616,420	13,868,511	1,747,909	88.8
0 3 民生費	13,212,282	11,693,589	1,518,693	88.5
0 4 衛生費	5,065,769	2,050,455	3,015,314	40.5
0 5 労働費	87,070	81,743	5,327	93.9
0 6 農林水産業費	1,566,713	1,350,393	216,320	86.2
0 7 商工費	4,485,366	3,950,863	534,503	88.1
0 8 土木費	7,535,222	4,437,342	3,097,880	58.9
0 9 消防費	1,501,658	1,462,151	39,507	97.4
1 0 教育費	3,967,494	3,607,587	359,907	90.9
1 1 災害復旧費	425,632	81,695	343,937	19.2
1 2 公債費	5,072,781	5,072,535	246	100.0
1 3 予備費	50,245	0	50,245	0.0
	58,819,539	47,883,588	10,935,951	81.4

5 基金の状況（令和3年5月末見込）

（単位：千円）

区 分	令和元年度	令和2年度（見込額）				
	年度末 現在高	積立額	積立利子	積立額計	繰入予算	年度末 現在高
財政調整基金	5,324,682	390,000	14,213	404,213	578,830	5,150,065
減債基金	1,517,003		3,898	3,898		1,520,901
公共施設整備基金	2,538,881		6,523	6,523	500,000	2,045,404
安曇野市本庁舎等建設事業基金	0					0
地域振興基金	2,753,148		7,074	7,074	121,000	2,639,222
分収造林事業基金	4,271		11	11		4,282
旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金	114,257	61	308	369	2,041	112,585
旧穂高町外1ヶ町浅川山林組合に関する基金	5,362	8	0	8		5,370
人材育成基金	0					0
国際交流基金	17,002				107	16,895
福祉基金	298,330	616	769	1,385		299,715
ふるさと水と土保全基金	41,593					41,593
ふれあい体験館基金	0					0
豊科安曇野の里基金	32		1	1	31	2
天蚕振興基金	3,816		10	10		3,826
三郷農林漁業体験実習館基金	13,422		35	35	13,456	1
堀金産地形成促進施設基金	6,850		18	18	1,188	5,680
堀金観光開発基金	160,384		413	413	24,651	136,145
安曇野市森林環境譲与税基金	8,265	17,566	22	17,588	410	25,443
安曇野市山岳環境整備基金	88,851		207	207	10,388	78,669
三郷図書館建設事業基金	0			0		0
青少年健全育成基金	0					0
青少年育成基金	37		1	1		38
青少年交流事業支援基金	6,443		17	17		6,460
美術品取得及び特別展開催基金	17,986		47	47		18,033
名誉市民田淵行男顕彰基金	1,717		5	5		1,722
入学準備金貸付基金	95,591	2,486	246	2,732	1,740	96,583
公式スポーツ施設整備基金	301,626	300	775	1,075	30,000	272,701
ちくに生きものみらい基金	52,132		134	134	636	51,630
霊園基金	146,053	16,505	376	16,881	57,332	105,602
ふるさとづくり基金	353		1	1	252	102
ふるさと寄付金積立金	2,024,526	1,070,247	5,202	1,075,449	755,503	2,344,472
西穂高会館維持運営基金	0			0		0
土地開発基金	252,032		512	512		252,544
	(うち現金)	199,124		512	512	199,636
	(うち土地)	52,909				52,909
国民健康保険支払準備基金	500,748	35,000	1,287	36,287		537,035
上川手財産区基金	10,501	1,317	28			10,501
北の沢山林財産区基金	11,411	299	30	329		11,740
有明山林財産区基金	25,228	299	65	364		25,592
富士尾沢山林財産区基金	3,104	189	8	197		3,301
穂高山林財産区基金	2,451	323	7	330		2,781
介護保険支払準備基金	646,970	88,077	1,663	89,740		736,710
農業集落排水事業建設基金	0					0
公共下水道建設基金	0					0
基金合計	16,995,058	1,623,293	43,906	1,665,854	2,097,565	16,563,347

※端数を調整しています

6 地方債の状況

一般会計

(単位：千円)

	前々年度末	前年度末	増減内訳		令和2年度末
	現在高	現在高見込額	借入額	元金償還額	現在高見込
1 普通債	24,280,781	25,279,698	4,876,700	3,470,912	26,685,486
1 総務	7,327,828	6,821,904	13,800	635,590	6,200,114
2 民生	3,564,611	4,215,192	136,200	410,434	3,940,958
3 衛生	2,469,908	3,097,409	2,465,800	869,763	4,693,446
4 労働					
5 農林	793,520	715,012	42,000	131,111	625,901
6 商工	1,080,130	1,039,040	54,100	94,260	998,880
7 土木	2,432,673	3,465,513	2,001,000	421,683	5,044,830
8 消防	434,400	312,964	49,100	96,640	265,424
9 教育	6,177,711	5,612,664	114,700	811,431	4,915,933
2 災害復旧債					
1 土木					
2 農林					
3 その他	16,460,515	16,504,368	1,313,322	1,466,655	16,351,035
1 減収補てん債			126,594		126,594
2 減税補てん債	248,131	185,849		53,607	132,242
3 臨時税収補てん債					
4 臨時財政対策債	16,212,384	16,318,519	1,186,728	1,413,048	16,092,199
合計	40,741,296	41,784,066	6,190,022	4,937,567	43,036,521

※予算書から抜粋した地方債の見込み額のため、繰越予算等による次年度借入があれば年度末残高は変動します。

上下水道事業の業務状況（令和2年10月1日から令和3年3月31日まで）

1 水道事業の状況

（1）業務の概要

安定した水道水の供給を行うため、計画的な水道施設の整備を進めるとともに適正な維持管理に努めました。令和2年度下半期の給水状況は下記のとおりでした。

月	当 年	前年同月	前年度との比較 %	当 年	前年同月	前年度との比較 %	当 年	前年同月	前年度との比較 %
	給水戸数 戸	給水戸数 戸		給水量 m ³	給水量 m ³		水道料金 (消費税込み) 千円	水道料金 (消費税込み) 千円	
前月末累計	111,070	119,963	△ 7.4	4,799,115	4,773,786	0.5	806,566	921,115	△ 12.4
10月	21,469	21,320	0.7	890,776	879,686	1.3	171,505	171,406	0.1
11月	18,931	18,912	0.1	810,606	779,730	4.0	157,238	147,408	6.7
12月	21,549	21,393	0.7	832,445	815,755	2.0	162,128	161,002	0.7
1月	18,748	18,690	0.3	788,357	757,247	4.1	152,711	147,759	3.4
2月	21,357	21,106	1.2	827,412	799,904	3.4	160,796	156,288	2.9
3月	19,006	18,983	0.1	798,660	775,228	3.0	155,172	151,061	2.7
後期合計	121,060	120,404	0.5	4,948,256	4,807,550	2.9	959,550	934,924	2.6
全期合計	232,130	240,367	△ 3.4	9,747,371	9,581,336	1.7	1,766,116	1,856,039	△ 4.8

※ 月毎の集計時数値。

令和2年度末の業務状況は下記のとおりとなりました。

区 分	令和2年度	令和元年度	増減比較
年度末区域内人口 (人)	96,903	97,368	△ 465
年度末給水人口 (人)	95,678	96,417	△ 739
普及率 %	98.7	99.0	△ 0.3
年間配水量 m ³	12,166,065	11,783,334	382,731
年間給水量 m ³	9,739,522	9,588,482	151,040
一日平均配水量 m ³	33,241	32,195	1,046
年間有収水量率 %	80.1	81.4	△ 1.3
※供給単価 円	164.77	178.49	△ 13.72
※給水原価 円	149.41	154.40	△ 4.99

※ 税抜きによる算出額。

上下水道事業の業務状況（令和2年10月1日から令和3年3月31日まで）

水道事業の損益計算書（下半期分）は次のとおりです。

1 水道事業の状況

損 益 計 算 書
（令和2年10月1日から令和3年3月31日まで）

（単位：円）

営業収益	1,015,642,088
給水収益	871,542,676
受託工事収益	2,658,880
その他営業収益	141,440,532
営業外収益	266,058,709
受取利息及び配当金	1,861,169
雑収益	168,868
他会計補助金	123,719,000
長期前受金戻入	140,309,672
特別利益	0
固定資産売却益	0
その他特別利益	0
収入計	1,281,700,797

（単位：円）

営業費用	897,169,250
原水及び浄水費	96,456,411
配水及び給水費	172,601,099
受託工事費	2,522,500
総係費	96,725,741
減価償却費	519,487,449
資産減耗費	9,373,270
その他営業費用	2,780
営業外費用	59,844,925
支払利息及び企業債取扱諸費	58,487,885
雑支出	960,845
過年度損益修正損	240,527
その他特別損失	155,668
特別損失	0
過年度損益修正損	0
費用計	957,014,175

※各区分の数値は税抜き額

当年度純利益（下半期）	324,686,622 円
当年度純利益（上半期）	105,991,102 円

【参考】以下通期分

当年度純利益	430,677,724 円
前年度繰越利益剰余金	900,357 円
その他未処分利益剰余金変動額	350,000,000 円
当年度未処分利益剰余金	781,578,081 円

2 下水道事業の状況

(1) 業務の概要

下水道処理を適正に行うため、計画的な整備を行うとともに下水道接続の促進に努めました。
令和2年度下半期の汚水量の状況は下記のとおりでした。

月	当 年	前年同月	前年度との比較 %	当 年	前年同月	前年度との比較 %	当 年	前年同月	前年度との比較 %
	排水戸数 戸	排水戸数 戸		汚水量 m ³	汚水量 m ³		下水道使用料 (消費税込み) 千円	下水道使用料 (消費税込み) 千円	
前月末累計	92,276	91,066	1.3	4,139,533	4,073,361	1.6	885,506	858,764	3.1
10月	15,912	15,674	1.5	713,625	758,874	△ 6.0	162,356	160,520	1.1
11月	15,194	14,940	1.7	692,087	685,243	1.0	145,826	141,986	2.7
12月	16,019	15,768	1.6	752,560	738,566	1.9	162,124	157,062	3.2
1月	15,235	14,857	2.5	661,485	642,690	2.9	140,392	134,263	4.6
2月	15,912	15,594	2.0	747,033	718,668	3.9	160,989	155,767	3.4
3月	15,520	15,117	2.7	671,844	651,499	3.1	142,858	139,113	2.7
後期合計	93,792	91,950	2.0	4,238,634	4,195,540	1.0	914,545	888,711	2.9
全期合計	186,068	183,016	1.7	8,378,167	8,268,901	1.3	1,800,051	1,747,475	3.0

※ 月毎の集計時数値

令和2年度末の業務状況は下記のとおりとなりました。

区 分	令和2年度	令和元年度	増減比較
年度末行政区域内人口(人)	96,903	97,368	△ 465
年度末処理区域内人口(人)	89,150	89,610	△ 460
年度末水洗化人口(人)	76,969	76,411	558
普及率 %	92.0	92.0	0.0
年間有収水量 m ³	8,414,029	8,269,208	144,821
水洗化率 %	86.3	85.3	1.0
施設利用率 %	42.3	41.8	0.5
※使用料単価 (円/m ³)	194.35	195.07	△ 0.72
※汚水処理原価 (円/m ³)	198.12	198.05	0.07

※ 税抜きによる算出額

(2) 経理の状況

下水道事業の損益計算書（下半期分）は次のとおりです。

損 益 計 算 書
(令和2年10月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

(単位：円)

営業収益	855,409,112
下水道使用料	830,272,989
他会計負担金	1,833,480
補助金	5,700,000
受託工事収益	5,625,290
その他営業収益	11,977,353
営業外収益	863,993,850
他会計負担金	432,835,000
長期前受金戻入	399,727,979
雑収益	31,430,871
補助金	0
収入計	1,719,402,962

営業費用	1,766,388,651
管きよ費	649,790,068
処理場費	32,271,212
浄化槽費	1,784,894
農業集落排水費	44,978,266
受託工事費	4,649,000
総係費	90,301,450
減価償却費	942,613,761
資産減耗費	0
営業外費用	268,345,693
支払利息及び企業債取扱諸費	265,054,706
雑支出	3,175,396
過年度損益修正損	115,591
費用計	2,034,734,344

※各区分の数値は税抜き額

当年度純損失（下半期分）	315,331,382 円
当年度純利益（上半期分）	944,052,899 円

【参考】以下通期分

当年度純利益	628,721,517 円
前年度繰越利益剰余金	175,024 円
その他未処分利益剰余金変動額	709,900,000 円
当年度未処分利益剰余金	1,338,796,541 円

令和3年度 安曇野市 水道事業会計 予算概要

水道事業予算概要

1 業務量 (予算書 2ページ)

業務の予定量	令和3年度	令和2年度	増 減	増減率
給水戸数 (戸)	39,200	40,100	△ 900	△ 2.2%
年間給給水量 (千m ³)	9,400	9,600	△ 200	△ 2.1%
一日平均給水量 (m ³)	25,753	26,301	△ 548	△ 2.1%

人口減少や節水型社会の進展に伴い給水人口と給水量は減少傾向にあるため、給水戸数の予定業務量は39,200戸として、年間総給水量は940万m³を見込みます。

2 収益的収支 (予定損益計算書) (予算書 2ページ、4ページ、16ページ、24~31ページ)

水道水を作り、みなさまへお届けするための収支状況です。
水道水がどのくらい売れて、その水道水を供給するまでにどのくらいの費用がかかっているのかを表します。

(千円) ※消費税抜き

収益的収支	令和3年度	令和2年度	増 減	増減率
営業収益	1,855,711	1,894,646	△ 38,935	△ 2.1%
うち給水収益	1,687,360	1,732,685	△ 45,325	△ 2.6%
営業外収益	269,545	274,060	△ 4,515	△ 1.6%
うち長期前受金戻入	267,928	271,988	△ 4,060	△ 1.5%
収益計 ①	2,125,256	2,168,706	△ 43,450	△ 2.0%
営業費用	1,649,175	1,685,085	△ 35,910	△ 2.1%
うち減価償却費	1,053,560	1,057,430	△ 3,870	△ 0.4%
営業外費用	113,844	130,603	△ 16,759	△ 12.8%
費用計 ②	1,763,019	1,815,688	△ 52,669	△ 2.9%
経常損益 ①-②	362,237	353,018	9,219	2.6%
特別損益 (特別利益-特別損失)	0	0	0	-
純損益(当期純利益)	362,237	353,018	9,219	2.6%

収益は21億2,525万6千円で、主に給水収益の減少のため、4,345万円の減額を見込みます。

費用は17億6,301万9千円で、動力費や支払利息が減少となり、合わせて水源等施設老朽化診断業務が完了したことから、5,266万9千円の減額を見込みます。

収益は減少となりましたが、費用は更に減少となったため純損益は921万9千円増加し、3億6,223万7千円の黒字を見込みます。



3 資本的収支 (予算書 2ページ、5ページ、32~35ページ)

水道施設の整備を行うための収支状況です。

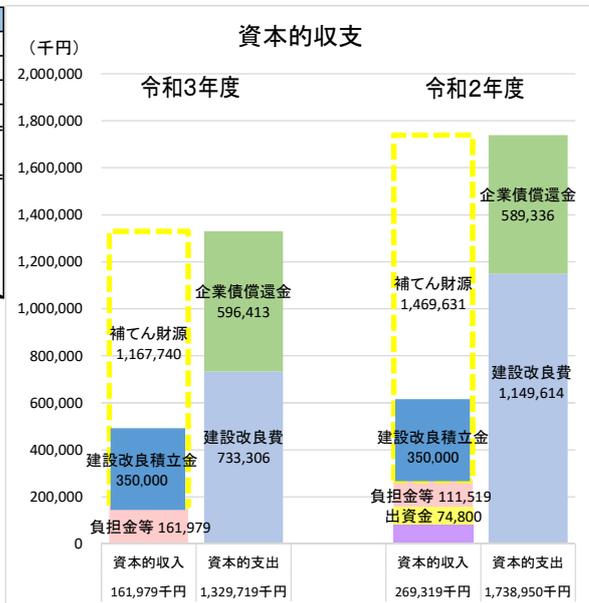
(千円) ※消費税込み

資本的収支	令和3年度	令和2年度	増 減	増減率
資本的収入 (a)	161,979	269,319	△ 107,340	△ 39.9%
うち一般会計出資金	0	74,800	△ 74,800	△ 100.0%
資本的支出 (b)	1,329,719	1,738,950	△ 409,231	△ 23.5%
うち企業債償還金	596,413	589,336	7,077	1.2%
資本的収支不足額 (a) - (b)	△ 1,167,740	△ 1,469,631	301,891	△ 20.5%
上記補てん財源				
消費税資本的収支調整額	51,744	94,232		
損益勘定留保資金(※1)	765,996	1,025,399		
建設改良積立金	350,000	350,000		

令和3年度は、主要管路整備配水管布設替工事を重点施策として実施しますが、前年度で豊科・明科地域整備事業が終了したため、建設改良費は減少し、資本的収入は1億6,197万9千円で、資本的支出は13億2,971万9千円を見込みます。

資本的収支不足額11億6,774万円は、過年度分損益勘定留保資金7億6,599万6千円、建設改良積立金3億5,000万円などで補てんします。

(※1) 損益勘定留保資金
施設の減価償却費など現金の支出を必要としない企業内部で留保される資金



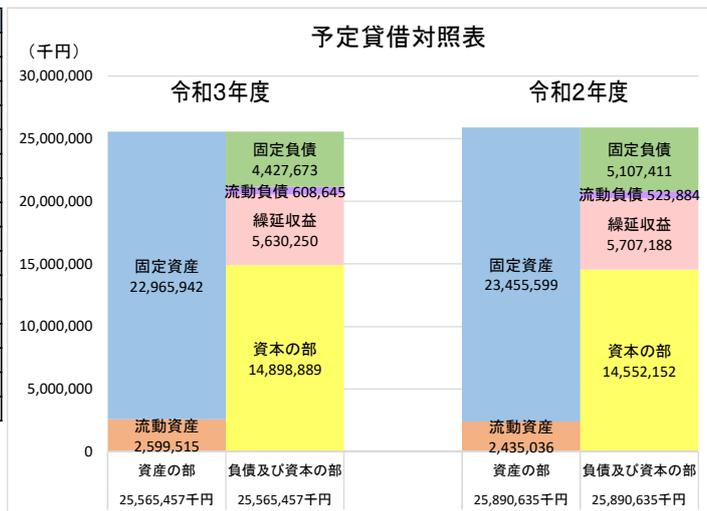
4 予定貸借対照表 (予算書 18~19ページ)

財政状態を表し、保有している財産の状況や、抱えている借入金の状況などを明らかにしています。

(千円)

	令和3年度	令和2年度	増 減
資産	25,565,457	25,890,635	△ 325,178
固定資産	22,965,942	23,455,599	△ 489,657
流動資産	2,599,515	2,435,036	164,479
うち現金	2,560,951	2,395,333	165,618
負債	10,666,568	11,338,483	△ 671,915
固定負債	4,427,673	5,107,411	△ 679,738
うち企業債	4,427,673	5,107,411	△ 679,738
流動負債	608,645	523,884	84,761
うち企業債	597,553	511,908	85,645
繰延収益	5,630,250	5,707,188	△ 76,938
資本	14,898,889	14,552,152	346,737
資本金	12,598,396	12,257,896	340,500
剰余金	2,300,493	2,294,256	6,237
資本剰余金	193,990	193,990	0
利益剰余金	2,106,503	2,100,266	6,237
負債+資本 計	25,565,457	25,890,635	△ 325,178

固定資産残高は豊科・明科地域整備事業が終了したため減少し、資産の部が3億2,517万8千円の減額となる見込みです。また、負債の部では企業債の償還により、企業債残高は50億2,522万6千円となり、5億9,641万3千円減少する見込みです。



5 予定キャッシュ・フロー計算書 (予算書 6ページ)

1年間の現金収入や現金支出を「営業活動」「投資活動」「財務活動」の3種類に区分けして、現金の流れを表します。

営業CFでは、主たる営業活動に伴う現金の増減を表します。プラスになっていることが原則で、多いほど事業活動が順調と言えます。

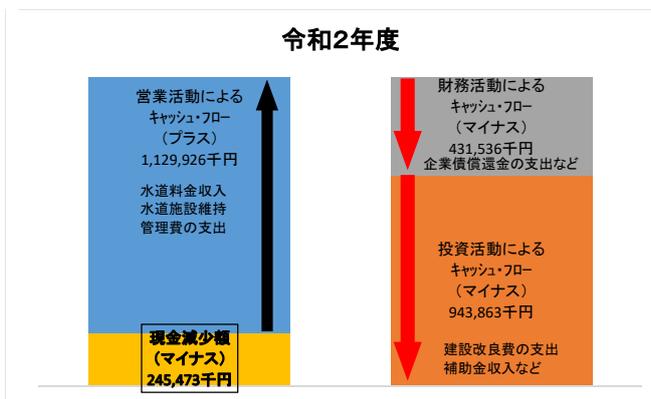
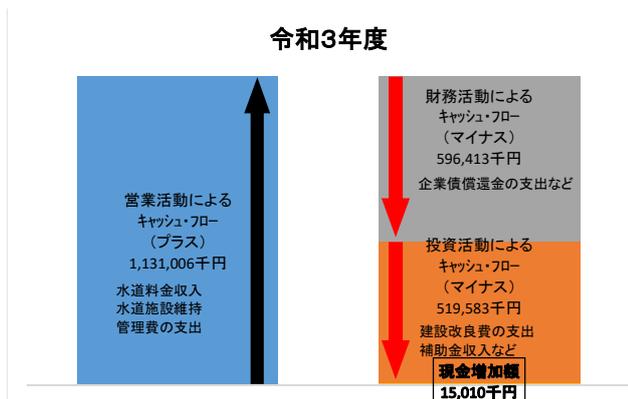
投資CFでは、施設の整備や固定資産の取得に伴う現金の増減を表します。通常は、マイナスとなります。

財務CFでは、資金調達や企業債償還に伴う現金の増減を表します。企業債を償還した場合にマイナス、借り入れた場合にはプラスとなります。

(千円)

	令和3年度	令和2年度	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,131,006	1,129,926	1,080
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 519,583	△ 943,863	424,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 596,413	△ 431,536	△ 164,877
現金増減額	15,010	△ 245,473	260,483
現金期首残高	2,545,941	2,640,806	△ 94,865
現金期末残高	2,560,951	2,395,333	165,618

営業活動による現金収入は11億3,100万6千円で、順調な経営状況を見込みます。投資活動による現金支出は5億1,958万3千円で、主要管路整備導・配水管布設替工事等の建設改良工事費を支出します。財務活動による現金支出は5億9,641万3千円で、企業債の償還金を支出します。現金の期末残高は、25億6,095万1千円となる見込みです。

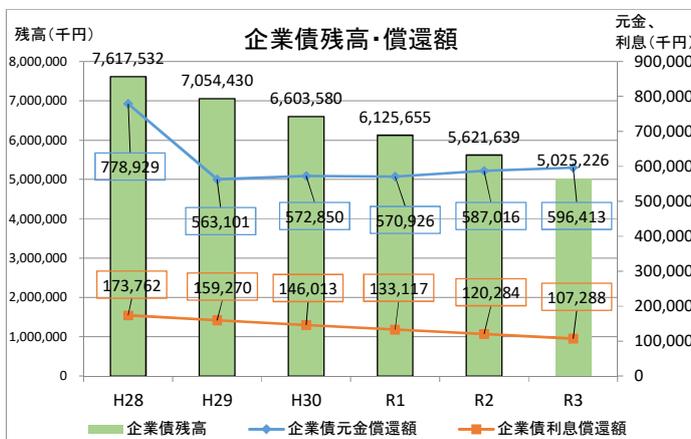


6 企業債

(千円)

	令和3年度	令和2年度	増 減
借入額	0	83,000	△ 83,000
企業債元金償還額	596,413	587,016	9,397
企業債利息償還額	107,288	124,905	△ 17,617
企業債年度末残高	5,025,226	5,621,639	△ 596,413

令和3年度は、5億9,641万3千円の元金償還を予定しており、年度末の企業債残高は、50億2,522万6千円となる見込みです。



令和3年度 安曇野市 下水道事業会計 予算概要

下水道事業予算概要

1 業務量 (予算書 38ページ)

業務の予定量	令和3年度	令和2年度	増減	増減率
排水戸数(戸)	31,500	31,000	500	1.6%
年間汚水量(千m ³)	8,500	8,300	200	2.4%
一日平均汚水量(m ³)	23,288	22,739	549	2.4%

接続率の向上により排水戸数は増加傾向にあるため、排水戸数の予定業務量は31,500戸として、年間汚水量は850万m³を見込みます。

2 収益的収支(予定損益計算書)(予算書 38ページ、40ページ、52ページ、60～69ページ)

使われた汚水をきれいにして川に流すまでの収支状況です。
下水道に流された汚水を処理する費用がどのくらいかを表します。

(千円) ※消費税抜き

収益的収支	令和3年度	令和2年度	増減	増減率
営業収益	1,679,769	1,643,497	36,272	2.2%
うち下水道使用料	1,652,494	1,610,440	42,054	2.6%
営業外収益	2,450,478	2,589,680	△139,202	△5.4%
うち一般会計負担金	1,663,451	1,753,411	△89,960	△5.1%
収益計①	4,130,247	4,233,177	△102,930	△2.4%
営業費用	3,014,949	3,055,441	△40,492	△1.3%
うち減価償却費	1,861,830	1,884,754	△22,924	△1.2%
営業外費用	495,893	549,897	△54,004	△9.8%
費用計②	3,510,842	3,605,338	△94,496	△2.6%
経常損益①-②	619,405	627,839	△8,434	△1.3%
特別損益 (特別利益-特別損失)	0	0	0	-
純損益(当期純利益)	619,405	627,839	△8,434	△1.3%



収益は41億3,024万7千円で、水洗化率の増加に伴い下水道使用料は4,205万4千円の増収を見込みますが、一般会計からの負担金が下水道使用料の増収や費用においては、犀川安曇野流域下水道維持管理負担金が2,337万8千円減額などになることから8,996万円減少となり、収益の総額は1億293万円の減額を見込みます。

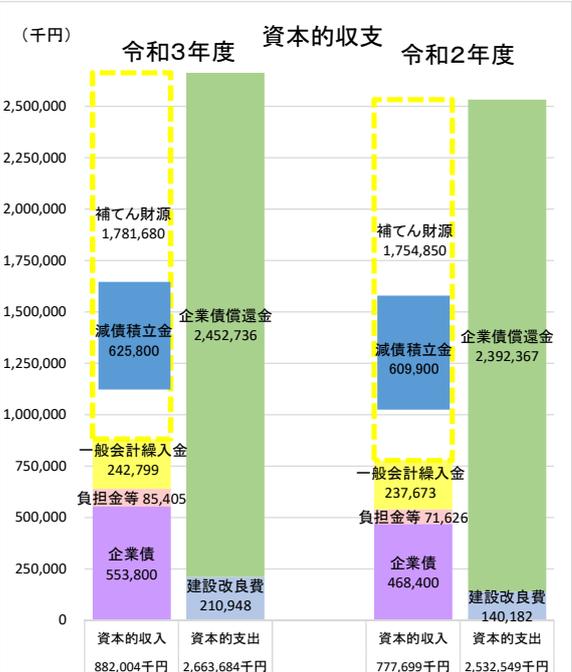
費用は35億1,084万2千円で、農集非財産処分報告書作成業務委託や機能診断調査業務委託などが増加しますが、減価償却費及び企業債支払利息の減少によって、9,449万6千円の減額を見込みます。
純損益は843万4千円減少し、6億1,940万5千円の黒字を見込みます。

3 資本的収支 (予算書 38ページ、41ページ、70～73ページ)

下水道施設の整備を行うための収支状況です。

(千円) ※消費税込み

資本的収支	令和3年度	令和2年度	増減	増減率
資本的収入(a)	882,004	777,699	104,305	13.4%
うち資本費平準化債	400,000	362,100	37,900	10.5%
資本的支出(b)	2,663,684	2,532,549	131,135	5.2%
うち企業債償還金	2,452,736	2,392,367	60,369	2.5%
資本的収支不足額(a)-(b)	△1,781,680	△1,754,850	△26,830	1.5%
上記補てん財源				
消費税資本的収支調整額	1,732	0		
損益勘定留保資金(※1)	1,154,148	1,144,950		
減債積立金	625,800	609,900		



資本的収入は8億8,200万4千円で、受益者負担金の減少を見込みますが、企業債の借り入れや国庫補助金の増加により、1億430万5千円の増額を見込みます。
資本的支出は26億6,368万4千円で、建設改良費や企業債償還金の増加により、1億3,113万5千円の増額を見込みます。

資本的収支不足額17億8,168万円は、損益勘定留保資金11億5,414万8千円、減債積立金6億2,580万円などで補てんします。

(※1) 損益勘定留保資金
施設の減価償却費など現金の支出を必要としない企業内部で留保される資金

(参考) 一般会計繰入金収入額の比較

(千円)

	令和3年度	令和2年度	増減
一般会計繰入金合計	1,908,079	1,992,889	△84,810
収益的収入	1,665,280	1,755,216	△89,936
資本的収入	242,799	237,673	5,126

※1,665,280 = 営業収益1,829 + 営業外収益1,663,451

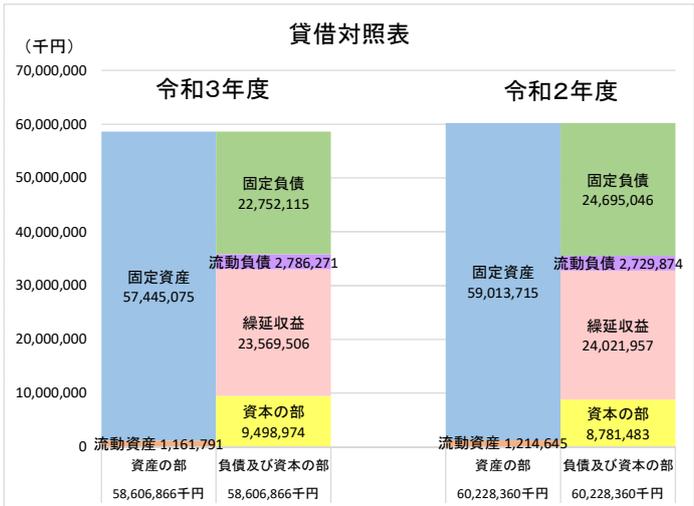
4 予定貸借対照表 (予算書 54~55ページ)

財政状態を表し、保有している財産の状況や、抱えている借入金の状況などを明らかにしています。

(千円)

	令和3年度	令和2年度	増 減
資産	58,606,866	60,228,360	△ 1,621,494
固定資産	57,445,075	59,013,715	△ 1,568,640
流動資産	1,161,791	1,214,645	△ 52,854
うち現金	1,029,656	1,094,825	△ 65,169
負債	49,107,892	51,446,877	△ 2,338,985
固定負債	22,752,115	24,695,046	△ 1,942,931
うち企業債	22,752,115	24,695,046	△ 1,942,931
流動負債	2,786,271	2,729,874	56,397
うち企業債	2,499,601	2,443,176	56,425
繰延収益	23,569,506	24,021,957	△ 452,451
資本	9,498,974	8,781,483	717,491
資本金	7,856,073	7,146,173	709,900
剰余金	1,642,901	1,635,310	7,591
資本剰余金	397,448	397,448	0
利益剰余金	1,245,453	1,237,862	7,591
負債+資本 計	58,606,866	60,228,360	△ 1,621,494

企業債の償還額が借入額を大きく上回るため、企業債残高は252億5,171万7千円となり、18億9,893万6千円減少する見込みです。また、企業債残高が負債合計の51.4%を占めています。



5 予定キャッシュ・フロー計算書 (予算書 42ページ)

1年間の現金収入や現金支出を「営業活動」「投資活動」「財務活動」の3種類に区分けして、現金の流れを表します。

営業CFでは、主たる営業活動に伴う現金の増減を表します。プラスになっていることが原則で、多いほど事業活動が順調と言えます。

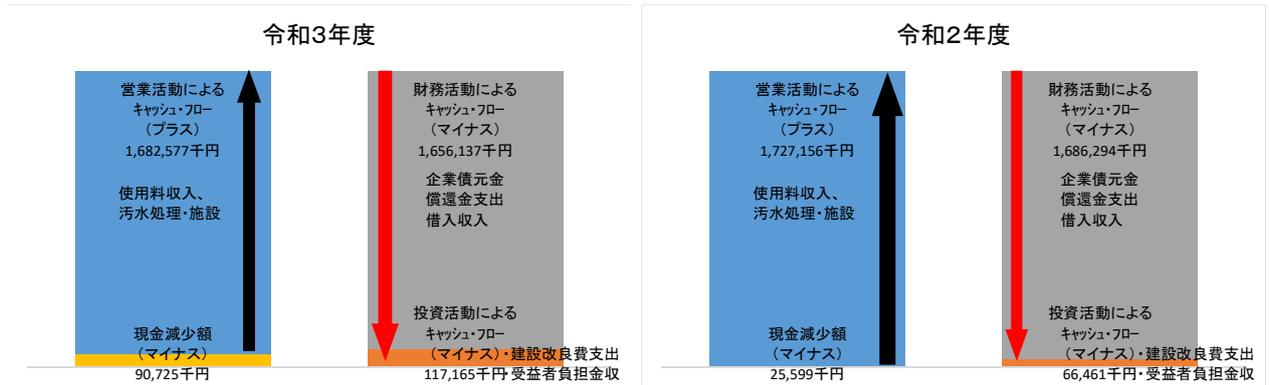
投資CFでは、施設の整備や固定資産の取得に伴う現金の増減を表します。通常は、マイナスとなります。

財務CFでは、資金調達や企業債償還に伴う現金の増減を表します。企業債を償還した場合にマイナス、借り入れた場合にはプラスとなります。

(千円)

	令和3年度	令和2年度	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,682,577	1,727,156	△ 44,579
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 117,165	△ 66,461	△ 50,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,656,137	△ 1,686,294	30,157
現金増減額	△ 90,725	△ 25,599	△ 65,126
現金期首残高	1,120,381	1,120,424	△ 43
現金期末残高	1,029,656	1,094,825	△ 65,169

営業活動による現金収入が16億8,257万7千円で、順調な経営状況を見込みます。投資活動による現金支出は1億1,716万5千円で、犀川安曇野流域下水道事業にかかる建設負担金等を支出します。財務活動による現金支出は16億5,613万7千円で、企業債の償還金を支出します。現金の期末残高は、10億2,965万6千円となる見込みです。



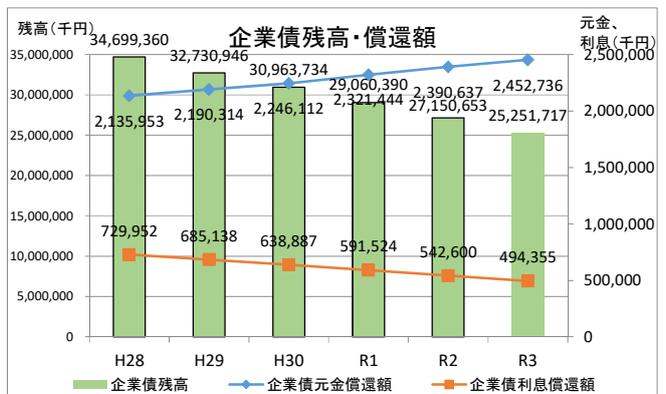
6 企業債

(千円)

	令和3年度	令和2年度	増 減
借入額	553,800	480,900	72,900
うち資本費平準化債	400,000	362,100	37,900
企業債元金償還額	2,452,736	2,390,637	62,099
企業債利息償還額	494,355	544,564	△ 50,209
企業債年度末残高	25,251,717	27,150,653	△ 1,898,936

令和3年度は、下水道事業債1億5,380万円と、資本費平準化債4億円の借入を予定しています。

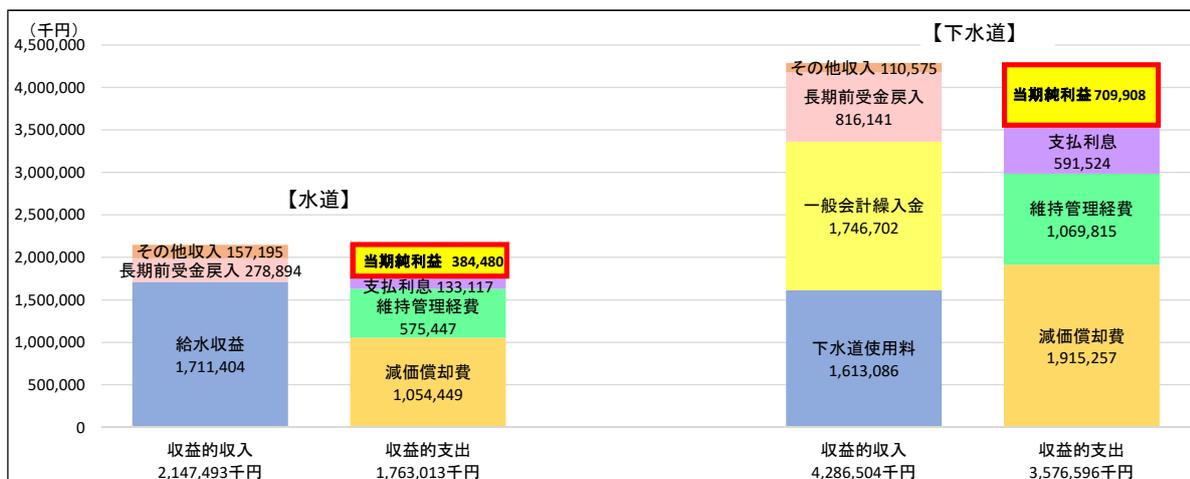
また、24億5,273万6千円の元金償還を予定しており、年度末の企業債残高は、252億5,171万7千円となる見込みです。



水道事業・下水道事業の比較

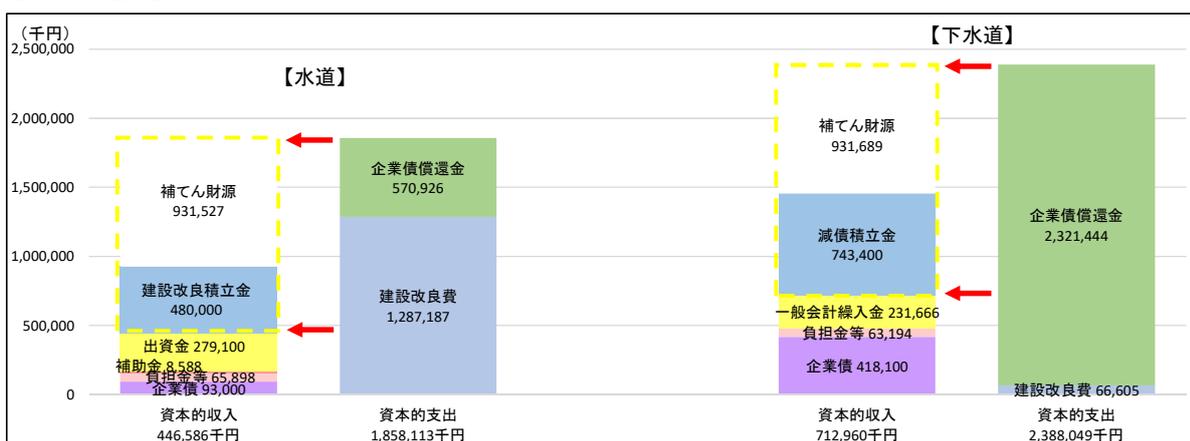
1 収益的収支(損益計算書)

水道事業では、給水収益で費用のほとんどを賄っていますが、下水道事業では、使用料収入だけでは費用全体の4割程度しか賄っていません。下水道事業の経営には、一般会計からの繰入金が必要不可欠であることが分かります。



2 資本的収支

2事業とも施設の整備等に係る財源の不足が発生します。水道事業は、過年度及び当年度に発生した損益勘定留保資金(減価償却費等)や建設改良積立金などにより、不足分を補っています。同様に下水道事業も過年度及び当年度に発生した損益勘定留保資金や減価積立金などにより不足分を補っています。



3 貸借対照表

財政状態を比較すると、水道事業は資産、負債ともに下水道事業のおおよそ4割となり、事業規模の差がよく分かります。水道事業は、主要管路布設替工事、下水道事業は流域下水道建設負担金の財源として企業債の借入れを行いながら、多額な返済も行っていきます。

